

平成 25 年度

事 業 報 告 書

決 算 報 告 書

公益財団法人 広島市みどり生きもの協会

目 次

第1 事業報告書

1	設立目的及び概況	1
2	役員等の状況	1
3	理事会等の開催	4
4	定款の変更	4
5	職員の状況	5
6	事業の実施状況等	6
7	事業報告の附属明細書	65

第2 決算報告書

1	貸借対照表	66
2	貸借対照表内訳表	68
3	正味財産増減計算書	69
4	正味財産増減計算書内訳表	73
5	財務諸表に対する注記	77
6	附属明細書	79
7	財産目録	80

事 業 報 告 書

第1 事業報告書

平成25年度公益財団法人広島市みどり生きもの協会事業報告書 (平成25年4月1日から平成26年3月31日まで)

1 設立目的及び概況

(1) 設立目的

緑のまちづくりの事業及び公園に関する事業を通して、ゆとりとやすらぎのある緑豊かな都市環境の形成及び市民の心身の健全な発達を図るとともに、生物多様性の保全に貢献し、もって公共の福祉の増進に寄与することを目的とする。

(2) 概況

ア 設立年月日

昭和51年10月1日 財団法人広島市公園協会として設立

平成11年 4月1日 財団法人広島市動物園協会と統合

平成24年 4月1日 公益財団法人へ移行し、公益財団法人広島市みどり生きもの協会に名称変更

イ 基本財産

設立当初、基本財産は1,000万円（全額広島市出資）であったが、平成11年4月1日財団法人広島市動物園協会との統合に伴い、同財団から1,200万円を寄付受領し、また、広島市から9,000万円の追加出資があったことにより、現在の基本財産は、1億1,200万円（うち広島市出資1億円）である。

ウ 実施事業

- (ア) 緑化思想の普及啓発、民有地の緑化等緑のまちづくりの推進
- (イ) 広島市が設置する公園及び公園施設の管理運営及び利用の促進
- (ウ) 広島市が設置する動物公園、植物公園及び昆虫館の管理運営及び利用の促進
- (エ) 生きものに関する調査研究、教育及び普及啓発
- (オ) 前各号に関する附帯事業の運営
- (カ) その他この法人の目的を達成するために必要な事業

2 役員等の状況

(1) 役員等の人数

理 事 長	1 人
専務理事	1 人
常務理事	2 人
理 事	11 人
監 事	2 人
評 議 員	12 人

(2) 理事・監事

ア 事業年度中の理事・監事の異動は、次のとおりである。

異動年月日	役職	氏名	異動内容
平成25年 4月 1日	専務理事	高山 茂	就任
	専務理事	高山 茂	重任
	常務理事	栗原 廣行	重任
	理事	石田 源次郎	重任
	理事	岩崎 誠	重任
	理事	打越 紱	重任
	理事	垣内田 攻樹	重任
	理事	中越 信和	重任
	理事	西田 志都枝	重任
	理事	橋本 直生	重任
	理事	舛井 秀雄	重任
	理事	益淵 正典	重任
	理事	松本 幸雄	重任
	理事	渡邊 一雄	重任

イ 平成26年3月31日現在の理事・監事は、次のとおりである。

役職	氏名	就任年月日
理事長	荒本 徹哉	平成23年 7月 1日
専務理事	高山 茂	平成25年 4月 1日
常務理事	栗原 廣行	平成23年 4月 1日
常務理事	増川 一幸	平成24年 4月 1日
理事	石田 源次郎	平成24年 4月 1日
理事	岩崎 誠	平成22年 3月 1日
理事	打越 紱	平成17年 7月 1日
理事	垣内田 攻樹	平成19年 7月 1日
理事	中越 信和	平成17年 7月 1日
理事	西田 志都枝	平成21年 7月 1日
理事	橋本 直生	平成17年 7月 1日
理事	舛井 秀雄	平成17年 7月 1日
理事	益淵 正典	平成21年 7月 1日
理事	松本 幸雄	平成21年 7月 1日
理事	渡邊 一雄	平成17年 7月 1日
監事	神田 敏治	平成19年 7月 1日
監事	手島 健志	平成24年 4月 1日

(3) 評議員

ア 事業年度中の評議員の異動は、次のとおりである。

異動年月日	役職	氏名	異動内容
平成25年 6月 4日	評議員	及川 久男	辞任
平成25年 6月 10日	評議員	橋本 裕之	辞任
	評議員	寺内 優	就任
平成25年 8月 1日	評議員	竹澤 寿幸	就任
	評議員	曾川 仁志	辞任
平成26年 3月 27日	評議員	宮本 健一	辞任
	評議員	尾楠 美代子	就任
	評議員	西尾 正人	就任

イ 平成26年3月31日現在の評議員は、次のとおりである。

役職	氏名	就任年月日
評議員	尾楠 美代子	平成26年 3月 27日
評議員	小野 寛	平成24年 4月 1日
評議員	真宅 成光	平成24年 4月 1日
評議員	鈴木 榮子	平成24年 4月 1日
評議員	竹澤 寿幸	平成25年 8月 1日
評議員	寺内 優	平成25年 6月 10日
評議員	中島 昌子	平成24年 4月 1日
評議員	中島 保廣	平成24年 4月 1日
評議員	中坪 孝之	平成24年 4月 1日
評議員	西尾 正人	平成26年 3月 27日
評議員	藤井 敏男	平成24年 4月 1日
評議員	松上 三智	平成24年 4月 1日

3 理事会等の開催

(1) 理事会

開催年月日	開催回数	付 議 事 項	審議結果
平成25年 5月27日	平成25年度 第 1 回	1 平成24年度公益財団法人広島市みどり生きもの協会事業報告及び決算報告について 2 理事長、専務理事及び常務理事の自己の職務の執行状況の報告について 3 平成24年度における職員の職務に係る倫理の保持に関する状況及び職員の職務に係る倫理の保持に関して講じた施策に関する報告について	承認 終了 終了
平成25年 6月10日 (決議の省略)	平成25年度 第 2 回	1 専務理事の選定の決議について 2 常務理事の選定の決議について	選定 選定
平成26年 3月12日 (決議の省略)	平成25年度 第 3 回	1 平成25年度第3回評議員会の招集について	原案可決
平成26年 3月27日	平成25年度 第 4 回	1 平成26年度公益財団法人広島市みどり生きもの協会事業計画及び予算について 2 平成26年度第1回評議員会の招集について 3 理事長、専務理事及び常務理事の自己の職務の執行状況の報告について	承認 原案可決 終了

(2) 評議員会

開催年月日	開催回数	付 議 事 項	審議結果
平成25年 6月10日	平成25年度 第 1 回	1 平成24年度公益財団法人広島市みどり生きもの協会決算報告について 2 評議員の選任の決議について 3 理事の選任の決議について 4 平成24年度公益財団法人広島市みどり生きもの協会事業報告について	承認 選任 選任 終了
平成25年 8月 1日 (決議の省略)	平成25年度 第 2 回	1 評議員の選任の決議について	選任
平成26年 3月27日	平成25年度 第 3 回	1 評議員の選任の決議について	選任

4 定款の変更

事業年度中の定款の変更はなし。

5 職員の状況

平成26年3月31日現在の職員の状況は、次のとおりである。

(単位：人)

区分		事務職員						技術職員						技能業務職員	非常勤職員	合計
		部長級	課長級	課長補佐級	係長級	主事	小計	部長級	課長級	課長補佐級	係長級	技師	小計			
緑化管理部	経営企画課		2	2	1	3	8					3	3	1	2	14
	昆虫館					1	1		1	1	1	2	5	1	1	8
動物公園	管理課		1		2	5	8					1	2	3	4	16
	飼育・展示課								2	1	5	21	29		2	31
植物公園	管理課		1	1	1	2	5	1		1	1	2	5	1	2	13
	栽培・展示課								1	3	4	3	11		6	17
合計			4	3	4	11	22	1	4	6	12	33	56	7	29	114

6 事業の実施状況等

(1) 事業の実施状況

次の事業を実施した。

① 公益目的事業

ア 緑のまちづくり [公1事業]

緑化思想の普及、啓発を図るとともに、市民の自主的な緑化活動を促進し、市民の生活にゆとりと安らぎを与え、健やかで潤いのある緑豊かな住みよいまちづくりを進めるため、次のとおり事業を実施した。

(ア) 緑化思想の普及啓発

a グリーンフェア

名 称	実施期間	場所	内 容	入場者数
春のグリーンフェア	25年4月12日 ～25年4月21日	広島 みなと公園	広島市等と実行委員会を組織し、花の塔、モデル庭園などの展示及び花市・植木市などを行った。	約 56,000 人
秋のグリーンフェア	25年10月5日 ～25年10月14日	植物公園	広島市等と実行委員会を組織し、植物ふれあいオリエンテーリングや花と緑の講習会などを行った。	22,669 人

b 広報普及

名 称	実施期間	内 容	件 数
インターネット・ ホームページ広報 (64ページの収益事業等に重複記載)	通 年	インターネットを通じて、事業の紹介や催し物などの情報を提供した。	アクセス件数 95,721 件
マスコミ広報	通 年	テレビ局・新聞社などを通じて、催し物などの情報を提供した。	テレビ 1 件 新聞等 10 件 計 11 件

c 出版物の配布

名 称	実施期間	内 容	発行部数
緑のハンドブック	通 年	緑のカーテンの作り方やその効果を紹介したハンドブックを配布し、緑化意識の普及、啓発を図った。	2,000 部

(イ) 民有地緑化の推進

a 緑化講習会の開催

名 称	実 施 日	場 所	内 容	参 加 者 数
苗木の植え方・育て方	25年10月12日	植物公園 (秋のグリーンフェア)	記念樹緑化事業における苗木の配付に合わせ、苗木の植え方や育て方を指導した。	18人
クリスマスにぴったりな寄せ植え	25年11月27日	中央公園 ファミリープール	ガーデンシクラメン、コニファー等の明るくカラフルな植物でクリスマスにぴったりな寄せ植えの作り方を実演指導した。	30人
新春を迎える 寄せ植え	25年12月13日	中央公園 ファミリープール	センリョウ、シクラメン、福寿草等を使用し、土、石材及びコケで新春らしい寄せ植えの作り方を実演指導した。	30人
緑のカーテンを 楽しもう	26年3月 5日	中央公園 ファミリープール	当協会が作製した緑のハンドブックをテキストとして、緑のカーテンに利用できる植物の栽培方法及び育成方法等を指導した。	34人

b 緑のカーテン設置補助金などの交付〔民有地緑化基金事業〕

名 称	実施期間	内 容	交付件数等	
			件数	金 額
緑のカーテン設置 補 助 金 の 交 付	25年4月8日 ～25年5月10日	緑のカーテンの設置に要した費用の一部を補助金として交付した。	117 件	596,600 円
魅せる花づくり 補 助 金 の 交 付	25年5月7日 ～25年6月7日 25年9月2日 ～25年10月4日	民有地内で多くの人の目に触れる場所(道路に面した場所)において花づくりを行った費用の一部を補助金として交付した。	65 件	408,100 円
記念樹の贈呈	25年7月19日 ～25年8月31日	誕生、入学・卒業、成人、結婚など人生の記念の節目を迎えた者に記念樹(苗木)を贈呈した。	336 件	787,175 円
民間建築物等緑化 事業補助金の交付	—	ホームページなどで制度の案内を行ったが、交付申請がなかった。	0 件	—

c　緑化指導者の派遣〔民有地緑化基金事業〕

名 称	実施期間	内 容	参加者数等
講習会への緑化指導者の派遣	通 年	草花の寄せ植え、育て方などを指導した。	開催回数 20 回 参加者数 412 人

(ウ) 貢献者の表彰〔みどり生きもの協会賞基金事業〕

広島市みどり生きもの協会賞基金の運用益等をもって、次のとおり広島市みどり生きもの協会奨励賞を贈呈した。

<広島市みどり生きもの協会奨励賞>

受 賞 者	対象区分	功 績 概 要
ふなこしたれゆえそうほぞんかい 船越誰故草保存会	実 務	絶滅が危惧される誰故草の育成、普及、保存に努め自生地の復活を目指す取組みを行うとともに、開花時期には公共施設での展示や講習会を実施し市民に潤いと安らぎを与えるなど、緑化推進事業の発展・振興に貢献した。

イ 動物公園の管理運営〔公2事業〕

広島市から指定（期間：平成22年4月1日～平成26年3月31日）を受けた広島市安佐動物公園における動物の飼育・展示、収集及び飼育管理、入園料の収受、施設の維持管理などを行い、入園者が施設を安全かつ快適に利用できるよう努めた。

また、他団体との連携や調査・研究の成果を生かして、生息域内保全と生息域外保全の両面から生物多様性の保全に貢献するとともに、社会教育への協力、学校教育活動の受入れやコンクールその他催し物の開催など各種事業を実施し、動物に関する知識及び動物愛護思想の普及、涵養並びに動物愛好者の育成を図った。

(ア) 動物の飼育・展示など

a 動物の飼育・展示

[展示場所等] 主な展示動物	内 容
[エントランスゾーン] アヌビスヒヒ、 フラミンゴなど	ヒヒ山では年間を通して約60頭の群で展示し、アフリカでの生息状況を表現した。平成26年1月～2月にかけては健康管理のため、全頭を捕獲して健康診断や員数調査を行った。フラミンゴ池では昨年産まれたオオフラミンゴが順調に成育した。
[肉食動物ゾーン] ライオン、 アムールヒョウなど	ライオン、アムールヒョウ、アムールトラ、オオタカなど食物連鎖の上位に位置する肉食動物を展示した。平成26年3月にトラ・ヒョウ舎の一部を改修して強化ガラスを利用した展示とし、間近で観察して威圧感と迫力が感じられるようにした。
[アフリカゾーンⅠ] アフリカゾウ、 アミメキリンなど	アフリカゾウはオスのタカとメスのアイの状況を観察しながら同居・交尾させて繁殖を狙ったところ、頻繁に交尾はするものの妊娠に至らなかった。アミメキリンのオスは、メスの発情期に交尾するような行動を見せ始めているが交尾に至っていない。グラントシマウマは、約20頭で群行動の展示を行った。
[アフリカゾーンⅡ] チーター、クロサイ、 ミーアキャットなど	アフリカに生息する大型草食動物であるクロサイの3頭展示、アフリカスイギュウの4頭展示により迫力ある展示を行った。ミーアキャットは10頭以上の群展示を行い、昨年導入したチーターはオス2頭、メス2頭の合計4頭となり、繁殖を目指し飼育を開始した。
[西園] レッサーパンダ、 シロクロウなど	レッサーパンダはオス1頭、メス1頭を導入し合計5頭となり、エリマキキツネザルは平成25年4月に1頭が産まれて、それぞれ群展示を充実させた。シフゾウは平成26年1月にオスを1頭、コウノトリは平成25年11月にオス1頭、メス1頭を導入し、それぞれ繁殖が可能となるペアがそろった。

[展示場所等] 主な展示動物	内 容
[ぴーちくパーク] ポニー、テンジクネズミ、 ウサギ、ヤギなど	ヤギ、ヒツジ、ミニブタなどと自由にふれあえる広場を入園者に提供するとともに、平成26年2月にポニーを1頭導入して乗馬体験を充実させた。ウサギ、テンジクネズミとのふれあい体験を実施して動物の温もりを伝え、動物を愛護する情操の涵養を図った。平成25年4月にルリコンゴウインコが3羽、6月にヒワコンゴウインコが3羽産まれ、それぞれの繁殖に成功した。子育ての家ではオオサンショウウオの卵・幼生・成体を展示した。
[はちゅうるい館] ワニ、ヘビ、 コウモリ、ムササビなど	夜行性動物が活発に動き回る姿を観察できるよう、照明を暗くした1階にはコウモリやムササビなどを展示し、2階には子どもに人気のあるワニやヘビなどの爬虫類のほか、特別天然記念物オオサンショウウオを屋内展示した。
[サルのなかま] チンパンジー、 マンドリルなど	チンパンジー、マンドリル、ダイアナモンキーなど多様なサル類を展示し、ヒトとの違いを考えるため、その能力、形態、行動について解説した。チンパンジーは、平成25年12月にオスが1頭産された。
[アジアの草食動物] マレーバク、 ブラックバックなど	マレーバク、ブラックバック、フタコブラクダ、キヨンなどアジアの草食獣を展示し、奇蹄類と偶蹄類の特徴のほか、砂漠や草原など生息環境への適応について解説した。マレーバクは、平成25年8月にメスが1頭産された。
[日本の動物] ツキノワグマ、 キツネなど	自然と人間との係わりを考えるため、ツキノワグマ、キツネ、タヌキ、イノシシなど国内に生息する身近な動物を展示了。
[大鳥舎] オシドリ、 シジュウカラガンなど	繁殖行動や雌雄の形態の違いなどを間近で観察できるよう、鳥舎内にオシドリ、マガモ、シジュウカラガンなど多種の水鳥を展示了。平成25年5月には、希少種であるシジュウカラガンの繁殖に初めて成功した。

【動物の飼育展示数】

(平成26年3月31日現在)

区分	種類	点数
哺乳類	63種	614点
鳥類	49種	539点
爬虫類	33種	283点
両生類	9種	101点
魚類	10種	1,576点
合計	164種	3,113点

b 動物の収集及び飼育管理

名 称	内 容
展示動物の維持及び種の保存	血統や余剰動物の管理を適切に行い、計画的な繁殖、ブリーディングローンなどにより、展示動物を適正に維持するとともに、チンパンジー・マレーバクなどの希少種の繁殖に成功し、種の保存に貢献した。
飼育下繁殖	チンパンジー、マレーバク、スローロリス、エリマキキツネザル、シジュウカラガン、ヒワコンゴウインコ、オオサンショウウオ、ナゴヤダルマガエルなど、絶滅危惧種や希少種とされている野生動物の繁殖を飼育下で行った。
ブリーディングローン	所有権を移転することなく、他園と動物の貸出しや借り入れを行い、繁殖を効率的かつ効果的に行った。 借り入れ：哺乳類 20頭、鳥類 13羽、爬虫類 1頭 貸出し：哺乳類 15頭、鳥類 20羽、爬虫類 1頭
動物交換	新しい血統の確保や飼育動物の数量調整、新規動物の導入を目的として、不足動物を譲り受ける一方、余剰動物を譲り渡すことにより、近交弱勢の防止や飼育環境の向上、動物公園の魅力アップを図った。 譲受け：ニホンコウノトリ、ボアコンストリクターなど 譲渡し：ニホンカモシカ、コロンビアレインボーボア、ボールニシキヘビなど
血統登録・血統管理	優良な種の保存のため、全国の園館の血統登録台帳を活用するとともに他園と情報を共有して、血統を管理することにより血縁の偏りを防いだ。
飼育動物の健康管理	飼育動物の健康状態を良好に保つため、衛生的かつ栄養学的に適切な飼料の配合や給餌、必要に応じた診察や治療、飼育舎の衛生管理に努め、飼育環境の向上及びエンリッチメントの充実を図った。

c 入園料の収受（利用料金制）

【入園状況】

区分				入園者数	使用料	
有料入園者	個人	大人	18歳以上 65歳未満	500円	193,630人 96,815,000円	
			65歳以上	170円	7,319人 1,244,230円	
		小人	小・中・高校生及び18歳未満	170円	38,943人 6,620,310円	
	年間パスポート	大人	18歳以上 65歳未満	1,500円	8,480人 12,720,000円	
			65歳以上	500円	301人 150,500円	
		小人	小・中・高校生及び18歳未満	500円	1,036人 518,000円	
	提示	大人	18歳以上 65歳未満	—	29,417人 —円	
			65歳以上	—	766人 —円	
		小人	小・中・高校生及び18歳未満	—	2,706人 —円	
	団体	大人	18歳以上 65歳未満	420円	12,557人 5,273,940円	
			65歳以上	130円	100人 13,000円	
		小人	小・中・高校生及び18歳未満	130円	3,922人 509,860円	
	優待割引	大人	18歳以上 65歳未満	420円	1,747人 733,740円	
			65歳以上	130円	53人 6,890円	
		小人	小・中・高校生及び18歳未満	130円	322人 41,860円	
小計				301,299人	124,647,330円	
減免等入園者（小・中学校教育活動、社会福祉施設、その他）				199,833人	0円	
合計				501,132人	124,647,330円	

※ 65歳以上の利用料金は、7月1日以後の利用において適用した。

d 利用促進

名称	実施期間（日）	内容	入園者数等
「ポニ一体験乗馬」 ポイントカードの発行	通年	毎週土・日曜日、祝日に行うポニーの体験乗馬参加者にポイントカードを配付し、利用回数に応じた特典を設け、リピーターの確保を図った。	ポイントカード配付枚数 5,275枚 特典供与人数 延べ 329人
年間パスポートの販売 (動物園・植物園・昆虫館共同事業)	通年	より多くの方に動物公園の魅力に触れる機会を提供するため、植物公園・昆虫館と共に利用できる年間パスポートを販売し、利用者に対するサービスの向上及びリピーターの確保を図った。	発行枚数 9,817枚

名 称	実施期間（日）	内 容	入園者数等
優待利用券の販売	通 年	企業や団体の福利厚生や景品などへの利用を目的に優待利用券(入園券引換券+飲み物引換券)を販売し、新たな入園者の獲得に努めた。	販売冊数 大人 58 冊 小人 8 冊 合計 66 冊
交通科学館との相互利用促進 (広島高速交通㈱共同事業)	通 年	近隣施設の交通科学館と協力して、相手施設の使用済の観覧券又は入園券提示者に団体割引料金を適用し、さらなる利用者獲得を図った。	1,384 人
アニマルカードの進呈	通 年	天候不順日に来園した人を対象に、動物公園オリジナルアニマルカードを進呈し、さらなる顧客の獲得に努めた。	12,364 枚
休園日の開園	25年 4月 4日		2,269 人
	25年 5月 2日		3,512 人
	25年 8月 15日		944 人
	25年 10月 3日	春休み、ゴールデンウィーク期間中、	1,363 人
	25年 10月 10日	お盆、10月の休園日、元日及び祝日と重なる場合の前日振替休園日などを	2,346 人
	25年 10月 17日	重なる場合の前日振替休園日などを	2,071 人
	25年 10月 24日	開園し、利用者に対するサービスの向上	4 人
	25年 10月 31日	及び入園者の増加を図った。特に、元日の開園は23年ぶりに実施した。	645 人
	26年 1月 1日		1,270 人
	26年 1月 2日		3,045 人
	26年 3月 27日		2,126 人
			合計 19,595 人
動物公園で野点	25年 5月 19日	園内で上田宗箇流による野点を開催し、動物公園の魅力を向上させ、入園者に対するサービスの向上を図った。	78 人
ミストトンネル	25年 7月 12日 ～25年 9月 2日	夏季の入園者増加対策として、水または霧のトンネルを通り抜けできる涼感コーナーを設置した。	—
夏休み広島ミュージアムめぐりスタンプラリー (動物園・植物園・昆虫館・ ㈱広島市未来都市創造財団・ (公財)広島平和文化センター・ (公財)広島原爆障害対策協議会・ 広島高速交通㈱共同事業)	25年 7月 20日 ～25年 8月 31日	市内の文化施設(12施設)をめぐるスタンプラリーを実施した。(特典: 5施設のスタンプを集める毎に1施設へ無料入場)	動物公園でのラリー用紙配布数 6,536 枚 動物公園での特典利用者数 61 人

名 称	実施期間（日）	内 容	入園者数等
夜 間 開 園 (ナイト・サファリ)	25年 8月10日 25年 8月11日 25年 8月17日 25年 8月18日 25年 8月24日 25年 8月25日 25年 8月31日 25年 9月 1日	幻想的な雰囲気を醸し出すとともに、昼間とは異なる動物たちの生態を観察できるよう、園内のライトアップや夕暮れコンサートなどを行い、動物公園の魅力を向上させ入園者の増加を図った。	夜間入園者数 (16時以降の入園者数) 4,112人 4,455人 7,555人 5,131人 1,016人 4,752人 2,198人 1,006人 合計 30,225人
安 佐 動 物 公 園 ウォーキング大会 (安佐北区役所共同事業)	25年11月 9日	高齢者を対象に、動物や植物など園内の自然に親しみながら歩く、ウォーキング大会を開催した。	130人
お客様感謝デーの実施	25年12月23日 26年 1月13日	日頃の利用に感謝して、閑散期である冬期の祝日2日を入園料無料の日とし、入園者サービスの向上及び入園者の増加を図った。	1,271人 2,762人 合計 4,033人
バレンタインデーは 動物公園でデート	26年 2月14日～ 26年2月16日	バレンタインデーを含む週末に、カップルの入園者に飲み物券をプレゼントした。	配布 276枚 利用 239枚

e 施設の維持管理・園内サービス

名 称	実施期間	内 容
施設の維持管理	通 年	入園者に安全・快適な観察環境を提供するため、園内の清掃・警備を行った。また、動物舎などの建物や機械・電気などの設備を良好な状態で利用できるよう維持管理や小規模修繕を行った。
利 用 案 内	通 年	入園者が快適に観察できるよう、標識、リーフレットや園内放送などにより利用案内を行った。
緊急時などの対応	通 年	傷病者の救護、迷子の捜索・保護、拾得物・遺失物の管理などを行った。
園 内 情 報 の 提 供	通 年	園内の各所に工夫を凝らした展示解説板やクイズボード等を設置し、動物に関する知識の普及を図った。また、園内に「きょうの見どころ・イベント」の掲示板を新設し当日の情報を提供した。 解説板等のか所数 118か所 「きょうの見どころ・イベント」掲示 244回
おもてなしの送迎	通 年	毎週土・日曜日、祝日の開園前に、職員がその日のイベントや見どころ等について説明を行い、また、開園時及び閉園時には入退場門でお出迎え、お見送りをするなど、職員一同おもてなしの気持ちを持って、来園者の送迎を行った。

f 施設の維持補修など

名 称	実施期間	内 容
施設の維持補修など	通 年	入園者が安全・快適に施設を利用できるよう、広島市から委託を受け、壁面による魅力的な空間の創出、キリン舎の放送設備の新設や、管理棟上部及びピクニック広場トイレの塗装などを行った。

(イ) 生物多様性の保全

a 他団体との連携

名 称	実施期間 (日)	内 容	回 数 等
日動水の種保存に関する会議への参加	通 年	公益社団法人日本動物園水族館協会の種保存に関連した会議に参加し、種保存(繁殖)計画の検討及び調整を行った。	5 回
希少動物の保護	通 年	公益社団法人日本動物園水族館協会からの受入れ要請に基づき、ワシントン条約違反の任意放棄動物を保護した。	40 点
日本オオサンショウウオの会の活動	25年10月12日 ～25年10月13日	京都市で開催された総会に参加し、保護活動に必要な情報交換を行った。	1 回
種保存会議の開催	25年11月 1日～ 25年11月 3日	公益社団法人日本動物園水族館協会第18回種保存会議を広島市において開催した。	1 回
シンポジウムの開催	25年11月 2日	公益社団法人日本動物園水族館協会との共催により第4回「いのちの博物館の実現に向けて～消えていいのか、日本の動物園・水族館」と題してシンポジウムを開催した。	1 回

b 生息域内保全

名 称	実施期間	内 容	回 数
生息地における絶滅危惧動物の保全	通 年	北広島町志路原地区の保全団体などの協働により、オオサンショウウオやナゴヤダルマガエルなど、絶滅に瀕した野生動物の保全活動を行った。また、国土交通省から灰塚ダム貴重両生類保護管理業務を受託し、ナゴヤダルマガエルの保全活動に取り組んだ。	オオサンショウウオの野外調査 4 回 ナゴヤダルマガエルの野外調査 6 回

c 生息域外保全

名 称	実施期間	内 容	回 数
生息地以外における 絶滅危惧動物の保全	通 年	広島県の絶滅危惧種であるナゴヤダルマガエル、国の特別天然記念物であるオオサンショウウオの飼育下繁殖や繁殖行動の調査などに取り組んだ。	2回

d 動物に関する調査・研究等

名 称	実施期間(日)	内 容
動 物 に 関 す る 調 査 ・ 研 究	通 年	アフリカゾウの繁殖生理の研究や系統解析、ダルマガエルの生態調査、オオサンショウウオの生態調査及びカエルツボカビ症の調査、鳥類の性別判定法の研究などを行った。
各 種 資 料 の 収 集	通 年	ズーカイーブックなど動物に関する書籍・雑誌・資料を収集し、繁殖などの調査・研究に役立てた。
写 真 ・ ビ デ オ な ど の 制 作	通 年	マレーバクの成長の様子、その他の動物の行動を写真・ビデオなどに収録し、調査・研究に役立て、事業記録として保存した。
学 会 ・ 研 究 会 へ の 参 加	通 年	公益社団法人日本動物園水族館協会や各種学会が主催する、動物園技術者研究会、中四国野生動物医療・看護勉強会、ゾウ会議、両生類爬虫類会議、獣医学術中国地区学会、哺乳類学会などに参加・発表した。
研 究 活 動 発 表 会 (動物園・植物園・ 昆 虫 館 共 同 事 業)	26年 2月 3日	動物公園の研究成果を市民に発表する場を設け、「安佐動物公園におけるケープハイラックス飼育の歩み」と題して発表した。 (参加者 80人)

e 野生動物の救護

名 称	実施期間	件 数 等																				
野 生 动 物 の 救 護	通 年	<table> <tbody> <tr> <td>哺 乳 類</td> <td>14 件</td> <td>7 種</td> <td>14 点</td> </tr> <tr> <td>鳥 類</td> <td>126 件</td> <td>38 種</td> <td>126 点</td> </tr> <tr> <td>爬 虫 類</td> <td>一 件</td> <td>一 種</td> <td>一 点</td> </tr> <tr> <td>両 生 類</td> <td>一 件</td> <td>一 種</td> <td>一 点</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>140 件</td> <td>45 種</td> <td>140 点</td> </tr> </tbody> </table>	哺 乳 類	14 件	7 種	14 点	鳥 類	126 件	38 種	126 点	爬 虫 類	一 件	一 種	一 点	両 生 類	一 件	一 種	一 点	計	140 件	45 種	140 点
哺 乳 類	14 件	7 種	14 点																			
鳥 類	126 件	38 種	126 点																			
爬 虫 類	一 件	一 種	一 点																			
両 生 類	一 件	一 種	一 点																			
計	140 件	45 種	140 点																			

(ウ) 教育・普及

a 社会教育への協力

名 称	実施期間(日)	内 容	件 数 等
動物レクチャー・体験型環境学習プログラム	通 年	動物科学館2階ホールや動物展示場前において、随時、動物の生態や特徴についての話や体験学習を行った。	110件 5,153人
ぴーちくパークにおけるふれあい指導	通 年	ボニーの乗馬やウサギ、テンジクネズミとのふれあいの場を提供した。	乗馬 7,033人 ふれあい 42,992人
動物 クイズラリー の 助 成	通 年	遠足時におけるクイズラリーの相談を受け、助言やスタンプの貸出しを行った。	4件
実習生の受入れ	通 年	大学生などを受け入れ、博物館実習(学芸員実習)、飼育実習、獣医臨床実習を行った。	52人
講演会・研修会への講師の派遣	通 年	児童館や公民館などの要請に基づいて、職員を講師として派遣し、動物の生態や自然などについて講演した。	32件
教 材 資 料 の 作 製 ・ 貸 出 し	通 年	骨格標本など教材資料を作製し、学校などを対象に貸出しを行った。	骨格標本等教材 90件 445点
教材生物バザールへの参 加	25年 5月15日	県立教育センターの要請に基づいて職員を派遣し、教材として動物資料を提供した。	1件

b 学校への職員派遣

名 称	実施期間	内 容	件 数
出 前 授 業	通 年	小・中学校及び高校に職員を派遣し、動物の生態や動物公園の仕事などについての説明や授業を行った。	16件

c 市民・団体との協働

名 称	実施期間(日)	内 容	参加者数等
動物解説ボランティア	通 年	園内で動物解説活動にあたるボランティアを育成し、活動内容の充実を図った。 解説ボランティア登録人数：55人	活動延べ人数 383人
作業ボランティア	通 年	園内で花づくりなどの作業にあたるボランティアを育成し、活動内容の充実を図った。 作業ボランティア登録人数：37人	活動延べ人数 839人
ボランティアとの共同イベント	どうぶつ工作広場	25年 4月 27日・28日	ASAZOOボランティアーズの指導により、簡単な工作で動物マスコットなどを作製した。
	動物にどんぐりプレゼント	25年10月14日	園内で拾ったどんぐりを炒って食べたほか、動物にもプレゼントした。
	落ち葉D.E. 動物アート	25年11月10日	園内で集めた落ち葉を使って、きれいなしおりを作った。
	フェルトで ゆきだるま	25年12月 1日	動物公園のヒツジの毛を使って、簡単な工作でフェルトの雪だるまなどを作製した。
大学との協働	通 年	大学と動物公園との相互協力により共同研究や地域活性化事業などを行った。	広島大学 1件 広島市立大学 1件 山口大学 1件 京都大学 1件
メイちゃんの一日警察署長(安佐北警察署)	25年 4月14日	ゾウのメイが交通安全のパフォーマンスを披露した。	400人
メイちゃんとPK対決(㈱サンフレッヂ広島)	25年 4月20日	ゾウのメイがシュートして飼育係がゴールを守るPK対決などを行った。	200人
鹿角ストラップづくり(㈱広島市未来都市創造財団)	25年 4月29日	シカの角を使った縄文風のオリジナルストラップ作りを体験する場を提供了。また、市内で発掘された動物に関する出土品を展示した。	1,210人
親子で挑戦!安佐動物公園 クイズスタンプラリー(㈱ベネッセコーポレーション)	25年4月1日～ 25年6月9日 25年9月8日～ 25年12月1日 26年3月21日～ 26年3月31日	園内の動物に関する解説を盛り込んだクイズ形式のスタンプラリーを開催した。	40,304人
漢字探検隊 (立命館大学 白川静記念 東洋文字文化研究所)	25年 6月22日	動物を表す漢字の成り立ちについて学習した。	18人

名 称	実施期間（日）	内 容	参加者数等
安佐動物公園でノルディックウォーキング (公財)広島市スポーツ協会	25年7月1日～ 25年9月30日	(公財)広島市スポーツ協会からノルディックウォーキングに使用するストックを借り受け、入園者に貸出し、園内でウォーキングを実施した。	50人
サンフレッヂェ応援 ASAZOO ふれあい広場 (㈱サンフレッヂェ広島)	25年 7月13日 25年 7月31日 25年 9月21日	ホームゲームの開催日に、エディオンスタジアムで、テンジクネズミ、ヒヨコ、ヘビとふれあえるイベントなどを実施した。	600人
がんばれカープ！ ASA ZOO-ZOO 広場 (㈱広島東洋カープ)	25年 7月30日	マツダスタジアムで動物ふれあい広場などを行った。	1,000人
ドリームナイト・ アット・ザ・ズー (ジブタルタ生命保険㈱)	25年 8月 3日	夜間開園の報道公開リハーサルの日に、障害児とその家族及び東日本大震災により福島県から広島市に避難して来られた家族を招待した。	823人
夕暮れコンサート (公社)広島交響楽協会	25年 8月18日	夜間開園で、広島交響楽団による夕暮れコンサートを実施した。	600人
わくわく安佐動物公園！ 夏休みの思い出作り (サンスター㈱・ ㈱ハーティウォンツ)	25年 8月25日	バックヤードツアーや動物に関するQ&A、大声コンテスト、キャラクターショー、歯の健康相談などを行った。	1,803人
Z O O ス ポ ! ! 動物園で体力測定 (公財)広島市スポーツ協会	25年10月19日	動物の能力に関連したゲームに参加しながら体力測定ができるイベントを開催した。	298人
動物の重さ・長さクイズ (広島市計量検査所・(一社)広島県計量協会・広島市計量協会)	25年10月27日	11月1日の計量記念日にちなんで、ゾウの体重と胸囲、スマレコンゴウインコ、ジャンボウサギの体重を入園者に予想してもらい、公開計測を行った。	830票
メイちゃんの 一日消防署長 (安佐北消防署)	25年11月 4日	秋の全国火災予防運動にあわせて、ゾウのメイが「一日消防署長」として、消防活動を披露した。	300人
感じて発見～防災広場 (国土交通省中国地方整備局・広島市消防局)	26年 3月 8日	防災について考えるトークショーを開催し、動物の地震感知能力に関する話題を提供した。	45人

d 広島動物愛好会の活動

会員内訳

(個人会員：168人、家族会員：46家族172人、賛助会員：8社)

名 称	実施日・回数	内 容	参加者数等
例 会 (第248回～第253回)	25年 4月14日	「チーター導入に向けて」(講話)、園内見学	32人
	25年 6月 9日	「エリマキキツネザル人工保育」(講話)、園内見学	31人
	25年 8月11日	「コウモリについて」(講話)、園内見学	24人
	25年10月13日	「マレーバクについて」(講話)、園内見学	42人
	25年12月 8日	十大ニュース、懇談会	42人
	26年 2月 9日	「重量級動物の移動運動について～サイ・ゾウ・キリン・ラクダ～」(和田直己氏講演会25ページに重複記載)、園内見学	40人 <small>(講演会参加者79人のうち)</small>
会 誌 の 発 行	年 6 回	愛好会の活動や動物公園の出来事などを載せた会誌「ズーミング」を発行した。	各回 250部
すづくりの送付	年 4 回	動物公園の出来事などを載せた「すづくり」を会員に送付した。	各回 250部
自 然 觀 察 会	25年 6月16日	コアシサイなどの植物、ラミーカミキリやカラスアゲハなどの昆虫、カジカガエルなどの動物の観察を行った。 場所:山県郡安芸太田町井仁の棚田	52人
	25年11月 9日	オオモミジ、ハウチワカエデなど植物やカワガラスなどの野鳥の観察を行った。 場所:山県郡安芸太田町三段峡	29人

e コンクールその他催し物の開催

(a) コンクール

名 称	応募期間・実施日	内 容	応募点数等
子ども写生大会 (中国新聞社共催)	25年 5月12日	幼稚、小・中学生を対象に、動物公園の動物や園内風景を題材とした写生大会を実施し、優秀作品を表彰した。	応募 727点 入選 197点
動物作文・詩 コンクール	25年7月1日 ～25年9月15日	小・中学生を対象に、動物に関する作文・詩を募集し、優秀作品を表彰した。	応募 864点 入選 276点

名 称	応募期間・実施日	内 容	応募点数等
動物画コンクール	25年7月1日 ～25年9月15日	動物公園の動物や園内風景を題材とした動物画を募集し、優秀作品を表彰した。	応募 入選 2,859点 400点
動物写真コンクール	25年7月1日 ～25年12月28日	動物を題材とした写真を募集し、優秀作品を表彰した。	応募 入選 490点 44点
動物と消防の写生大会 (安佐北区子供会連合会 ・安佐北消防署共催)	26年 3月16日	動物と消防車を題材とした写生大会を実施し、優秀作品を表彰した。	応募 入選 429点 60点

(b) 観察会

名 称	実 施 日	内 容	参加者数
ダルマガエルの 目覚め観察会	25年 5月18日	飼育下で冬眠中のダルマガエルをミズゴケから掘り起こす作業を公開した。	54人
あおぞら自然観察会 (動物園・植物園・ 昆虫館共同事業)	25年 6月 8日	カワラヒワやアカハライモリなどの動物、カキツバタやマムシグサなどの植物、ヒロシマサナエやウスバシロチョウなどの昆虫の観察を行った。 場所：山県郡北広島町八幡湿原	90人
モリアオガエルの 産卵観察会	25年 6月 8日	園内に生息する野生のモリアオガエルと、その卵塊を観察した。	70人

(c) 動物教室その他催し物

名 称	実施期間(日)	内 容	参加者数等
まいにち解説	通 年	園内での動物解説を拡充し、平日も時間を決めて数か所で実施した。動物の生態などをわかりやすく解説し、動物への理解を深めてもらった。	35,949人
バックヤードガイド	通 年 (毎週土曜日)	普段は見学することのできない動物舎などに案内し、動物公園の仕事や動物への理解を深める機会を提供した。	111回 2,220人

名 称	実施期間(日)	内 容	参加者数等
動物公園春まつり	25年4月1日 ～25年5月6日 26年3月8日 ～26年3月31日	春の行楽シーズン中の各土・日曜日、祝日に様々な催し物を実施し、動物の知識の普及と入園者の増加を図った。	入園者数 143,735人
メイちゃんの公開パフォーマンス	25年 4月 6日・ 7日 26年 3月 29日・30日	ゾウのメイが鼻を器用に使う様子や牙で飼育係を持ち上げるパワーなどゾウの持つ能力を披露した。	472人
えさやり体験	25年 4月 6日・ 7日 26年 3月 29日・30日	キリン、ヤギ、ヒツジへのえさやり体験を通じて、動物とのふれあいの場を提供了。	キリン 673人 ヤギ・ヒツジ 303人
動物お食事タイム	25年 4月 6日・ 7日 26年 3月 29日・30日	飼育係がペンギンやシマウマ、レッサーパンダなどに給餌をしながら、動物の習性やくらしについて解説した。	入園者数 5,442人
飼育のお仕事	25年 4月13日	4月19日の「飼育の日」にちなんで、飼育係が自分たちの仕事や道具などを紹介した。	100人
チーター愛称募集及び命名式	(募集期間) 25年 4月13日 ～25年 4月29日 (命名式) 25年 5月11日	新規導入したチーター3頭の愛称を市民から募集するとともに、愛称の命名式を行った。	応募 愛称 7,798票 アーサー チーコ サクラ
解剖教室 ～獣医入門～	25年 4月21日	小学校3～6年生を対象に、ニワトリの解剖を行った。	24人
ヒツジの毛刈り と糸つむぎ教室	25年 5月 3日・ 4日	ヒツジの毛刈りの実演と、毛糸ができるまでの過程を体験できる教室を実施した。	糸つむぎ教室 174組
動物チャレンジゲーム	25年 5月 6日	動物の能力に挑戦できる体験ゲームを行った。	400人
ゆかいな仲間たちと作る ビーズアクセサリー	26年 3月23日	ビーズ作家山田恵美氏の指導でビーズのアクセサリーを作製した。	52人
動物脱出対策 公 開 訓 練	26年 3月23日	ライオンが脱出したという想定で動物脱出対策公開訓練を行った。	入園者数 6,186人
カエルのための 田んぼで田植え体験	25年 5月11日	園内に設置したカエルの生息に配慮した水田で、募集した参加者と田植えを行った。	6人

名 称	実施期間(日)	内 容	参加者数等
リユース フリーマーケット	25年 5月 25日・26日	家庭で不用となった物品のリユースを通じて、自然環境保全及び動物愛護思想の普及を図った。	出店 157組
動物園 de 婚活	25年 6月10日 25年11月23日	独身の男女を対象に、バックヤードガイドやクイズラリーなどで動物園ならではの出会いの場を提供し婚活を支援した。	49人 46人
オウム・インコデー インコと記念撮影	25年 6月15日	6月15日のオウム・インコデーにちなみ、希少動物であるインコについて解説し、記念撮影コーナーも設置した。	100人
アニマル バルーンアート	25年 6月 29日・30日	色とりどりのペンシルバルーンを巧みに操り、さまざまなかわいい動物を作り出すバルーンアート教室を開催した。	350人
動物園で七夕	25年 7月 7日	動物公園特製のレッサーパンダの糞を使用した短冊に願いを書いて竹に取り付けた。	300人
動物へ 暑中お見舞い	25年 7月23日	大暑に、果物の入った氷やスイカなどをアスビスヒヒやゾウに与えた。入園者にもかき氷をプレゼントした。	300人 かき氷プレゼント 50人
サマースクール	25年 7月24日 25年 7月26日	小学校4~6年生を対象に飼育実習を行い、動物の飼育方法や動物の暮らしについて学ぶ機会を提供した。	48人 49人
チーター愛称募集 及び命名式	(募集期間) 25年 7月20日 ~25年 7月31日 (命名式) 25年 8月11日	新規導入したチーターの愛称を市民から募集するとともに、愛称の命名式を行った。	応募 愛称 1,277票 ジョージ
寄附者への 動物ガイド	25年 8月 3日	園内案内看板寄附者を「ドリームナイト・アット・ザ・ズー」に招待し、バックヤードガイドを行い、動物の生態などをわかりやすく解説した。	1件 45人
開園記念日一日園長と かよこバスにのろう	25年 9月 1日	市民を一日園長として招き、園内でかよこバスを運行し、入園者とともに開園記念日を祝った。	入園者数 290人 バス乗車人数 15人

名 称	実施期間(日)	内 容	参加者数等
動物公園秋まつり	25年9月14日 ～25年11月24日	秋の行楽シーズン中の各土・日曜日、祝日に様々な催し物を実施し、動物の知識の普及と入園者の増加を図った。	入園者数 125,981人
カエルのための田んぼで稲刈り体験	25年 9月14日	園内に設置したカエルの生息に配慮した水田で、募集した参加者と稲を収穫した。	8人
動物たちの長寿を祝う会	25年 9月16日	敬老の日に、長寿の動物たち（クロサイ、コンゴウインコ）に果物などを与え、入園者とともに祝った。	200人
リユースフリーマーケット	25年 9月22日 23日	家庭で不用となった物品のリユースを通じて、自然環境保全及び動物愛護思想の普及を図った。	出店 134組
長寿世界一 クロサイのハナにご対面	25年10月 5日・12日 19日・26日	10月の毎週土曜日に、普段は非公開になっている世界最高齢の47歳のハナを特別公開した。	1,307人
飼育係とお話サンデー	25年10月 6日・13日 20日・27日	10月の毎週日曜日に、園内各所で飼育係が動物の話をするなど、入園者とのふれあいの一日を持った。	入園者数 15,435人
あおぞら動物レクチャー	25年10月 10日・17日 24日・31日	10月の臨時開園日に標本や動物の能力を体験できる装置などを使った動物レクチャーを開催した。	500人
ハロウィン動物園	25年10月26日	ハロウィンにちなんだ仮装をした入園者を誘致するとともに巨大カボチャの展示を行った。	入園者数 1,792人
動物園でいも掘り	25年11月 2日	園内の動物の餌とするイモ畑で市民とともにサツマイモを収穫した。	50人
はたらく動物に感謝の日	25年11月23日	勤労感謝の日に、安佐動物公園一の働き者、ポニーの4頭を表彰してニンジンをプレゼントし、記念撮影を行った。	100人
ふりふりバター作り	25年11月24日	生クリームとペットボトルを使って簡単にバターを作る方法を指導し試食するとともに、家畜と人との関わりについて解説した。	150人
おとななのための飼育体験教室	25年11月17日	野生動物への関心を深めるため、飼育実習と講義を行った。	32人

名 称	実施期間(日)	内 容	参加者数等
動物公園冬まつり	25年12月 1日 ～26年2月23日	冬季の各土・日曜日、祝日に様々な催し物を実施し、動物の知識の普及と入園者の増加を図った。	入園者数 45,686人
ポニート 記念撮影	25年12月 7日	平成26年の干支「ウマ」との記念撮影の場を提供した。	250人
開運ちしおり プレゼント	25年12月 14日・21日	アフリカゾウの糞を使用した開運ちしおりを入園者にプレゼントした。	400人
クリスマス動物 キャンドル作り	25年12月15日	クリスマスにちなみ動物型のキャンドルを作製した。	100人
元気に冬越し 冬至はかぼちゃ	25年12月22日	冬至に、ゾウやアヌビスヒヒなどにかぼちゃんを与え、動物たちの健康を願った。	300人
しめ縄づくり体験	25年12月23日	お正月の準備として、わら縄や造花などを使った手作りしめ縄を作製した。	39人
クリスマス サイタクロースが プレゼント	25年12月25日	クリスマスに飼育係が扮したクロサイのサンタクロースが動物のエサを配るとともに入園者にお菓子などをプレゼントし、抽選券を配布し賞品をプレゼントした。	400人
新春子ども もちつき体験	26年 1月 2日・ 3日	広島東洋カープの上本崇司選手を招待し、新春を祝う行事として、子どもたちによるもちつき体験や干支の引き継ぎ式を行った。	600人
オリジナル缶バッジ を作ろう	26年 1月12日	動物のイラストを描いた自分だけのオリジナル缶バッジ作りを実施した。	201人
うま年書道 パフォーマンス	26年 1月13日	五日市高等学校書道部による、巨大な馬の文字を描く書道パフォーマンス。書道体験も実施した。	書道体験 500人 10人
落ち葉で やきいも作り	26年 1月 19日・26日	冬の風物「やきいも」作りを体験しながら、動物たちの冬の過ごし方について解説した。	100人
動物公園で雪遊び	26年2月8日～ 26年2月16日	冬の動物公園の賑わい作りのため、雪の滑り台や雪像を作った。	入園者数 6,612人
動物講演会 (20ページに重複記載)	26年 2月 9日	「重量級動物の移動運動について～サイ・ゾウ・キリン・ラクダ～」山口大学生体システム科学研究所の和田直己氏による講演会を行った。	79人
まんが動物園 &動物まんが クイズラリー	(まんが展示) 26年 2月 1日～ 26年 2月23日 (クイズラリー) 26年2月 2日・ 9日 16日・23日	飼育係が描いたまんが解説パネルを展示し、そのまんがを題材にしたクイズラリーを行った。	3,774人

名 称	実施期間(日)	内 容	参加者数等
サンちゃんツアー	25年12月25日 26年 1月29日 2月26日 3月26日	普段は見学することのできないオオサンショウウオ保護増殖施設を案内し、オオサンショウウオの現状と保護活動への理解を深める機会を提供した。	4回 37人
ポニー愛称募集及び命名式	(募集期間) 26年 2月22日 ～26年 3月 9日 (命名式) 26年 3月21日	来園したポニーの愛称を市民から募集するとともに、愛称の命名式を行った。	応募 愛称 ナミ 1,597票
オリジナル缶バッジを作ろう	26年 3月 9日	動物のイラストを描いた自分だけのオリジナル缶バッジ作りを実施した。	258人
親子動物教室	26年 3月23日	親子を対象に、動物の生態の観察や動物にふれあう場を提供し、動物愛護思想の普及を図った。	33組 66人
チーター公開一周年記念イベント	26年 3月 1日 ～26年 3月30日	3月中の土・日曜日、祝日にスクラッチくじを入園者全員に配布した。3月30日に、チーターお食事タイムや○×クイズを実施した。	スクラッチくじ配布 35,370枚 3/30参加者 300人

f 学校教育活動の受入れ

名 称	実施期間	内 容	参加者数等
なかよし動物教室	通 年	生きものへの関心を深めるため、保育園・幼稚園の園児を対象に、ポニーの乗馬やウサギ、テンジクネズミとのふれあいの場を提供した。	120件 3,198人
職場体験の受入れ	通 年	中学校の「総合的な学習の時間」及び高等学校の進路総合学習において、動物公園の職場体験を希望する生徒を受け入れた。	1件 6人
進路総合学習の受入れ	通 年	中学校・高等学校の進路総合学習において、動物公園の職場見学を希望する生徒を受け入れた。	1件 19人
自然体験活動の受入れ	通 年	動物の観察や動物とのふれあいを目的として、市立小・中学校の児童・生徒を受け入れた。	50件 3,692人

g 企画展その他展示会の開催

名 称	実施期間	内 容
動物と消防の写生大会 入 賞 作 品 展	25年 4月13日 ～25年 4月21日	動物と消防の写生大会の入賞作品を展示了。
動物写真コンクール 入 賞 作 品 展	25年 4月27日 ～25年 5月26日	動物写真コンクールの入賞作品を展示了。
子ども写生大会 入 賞 作 品 展	25年 6月 8日 ～25年 7月 7日	中国新聞社と共に催して行った「子ども写生大会」の入賞作品を展示了。
企画展示 「チーター展」	25年 7月20日 ～25年 9月16日	新規に導入したチーターの魅力をパネルなどで紹介した。
亀井由美子 「紙の恐竜展」	25年 9月28日 ～25年11月 3日	亀井由美子氏による再生紙や針金ハンガーなど再生材料で制作した恐竜オブジェを展示了。
動物画コンクール 入 賞 作 品 展	25年11月10日 ～25年12月 1日	動物画コンクールの入賞作品を展示了。
市民公募展 「広島市立大学芸術学部日本画専攻1年生による動物制作展」	25年12月14日 ～26年 1月13日	広島市立大学芸術学部日本画専攻一年生による動物画を展示了。
市民公募展 「カワセミブルーに魅せられて」「カモの木彫り展」	26年 1月25日 ～26年 2月23日	地元安川に生息するカワセミに魅せられた小西秀信氏とその仲間たちの写真と、「本物よりも本物らしく」を追求した菊田カービングダック教室の作品を展示了。
市民公募展 「山田恵美 ゆかいな仲間たちと作るビーズワールド」	26年 3月 9日 ～26年 3月30日	ビーズアクセサリー作家山田恵美氏とその生徒さんたちが作製した動物をモチーフにしたビーズアクセサリー大小約60点を展示了。

h 広報普及

名 称	実施期間	内 容	件 数 等
マスコミ広報	通 年	テレビ局・ラジオ局・新聞社・出版社などを通じて、催し物や赤ちゃん誕生などの話題を広報した。	広報件数 117 件 取材件数 242 件 《取材件数の内訳》 テレビ 128 件 ラジオ 22 件 新聞 75 件 その他 17 件
近隣県市町訪問広報	通 年	三原市、竹原市、大竹市、益田市、江津市、松山市に職員を派遣し、動物公園の教育活動等をPRし利用を促した。	6 か所

名 称	実施期間	内 容	件 数 等
動物レクチャー・体験学習プログラムの案内	通 年	動物レクチャー・体験学習プログラムを学校、公民館などに配布し、利用を呼びかけた。	341 か所
観光事業所との連携	通 年	観光事業所に職員を派遣し、動物園事業をPRし、観光客の来園を促した。また、広島観光コンベンションビューローなどと連携して、観光客の増加を図った。	4 件
チラシ配布ネットワーク	通 年	公共施設や観光事業所に動物公園のPR用チラシを市内郵便局ネットワークを利用し配布した。	1,503 か所
動物写真パネルの貸出し	通 年	動物の写真パネルやマンガを公共施設や事業所などに貸し出し、これらの場所を動物公園のPRの場とした。	34 か所 写真パネル 503 点 マンガ 117 点
インターネット・ホームページ広報	通 年	インターネットを通じて、施設の紹介、催し物、赤ちゃん誕生などの最新情報や動物公園で得た情報を提供し、Eメールによる問合せなどに対応した。	Eメールによる問合せ等 217 件

i 出版物の発行

名 称	発行部数	内 容
「すづくり」「飼育記録集」	4回 計3,400部 220部	動物公園のニュース、動物の飼育記録や生態などを紹介した「すづくり」と「飼育記録集」を発行、配布し、動物に関する知識の普及や動物園事業の周知を図った。

j 動物に関する相談

名 称	実施期間	件 数
動物相談	通 年	飼育相談 56 件 野生動物の救護 66 件 引取依頼 66 件 有害鳥獣の駆除対策 54 件 その他一般相談 173 件 計 415 件

ウ 植物公園の管理運営 [公2事業]

広島市から指定（期間：平成22年4月1日～平成26年3月31日）を受けた広島市植物公園における植物の栽培・展示、収集及び栽培管理、入園料の収受、施設の維持管理などを行い、入園者が施設を安全かつ快適に利用できるよう努めた。

また、他団体との連携や調査・研究の成果を生かして、生息域内保全と生息域外保全の両面から生物多様性の保全に貢献するとともに、社会教育への協力、学校教育活動の受入れや講座その他催し物の開催など各種事業を実施し、植物に関する知識及び植物愛好心の普及、涵養並びに植物愛好者の育成を図った。

(ア) 植物の栽培・展示など

a 植物の栽培・展示

[展示場所] 主な展示植物	内 容
[大温室] ヤシ、ラン、熱帯果樹など	温室内を、植物の分類や利用目的によって9区画に分けて栽培・管理した。展示においては、入園者が巨大な熱帯植物の醸し出すジャングルの雰囲気を体感しながら植物により親しめるように、各所に説明板を設置して知識の普及に努めた。また、夜間に開花する植物の剪定を工夫して開花期を夜間開園に合わせたほか、ランらんまつりでは、400種4,000鉢30万輪のランを用いて「富士山」をディスプレイした。
[サボテン温室] サボテンなど	サボテン類やリュウゼツランの仲間などの乾燥地に生える植物を栽培・展示した。様々な系統の植物が乾燥地という特殊な環境に適応していることを理解するために、22の科に分類される約250品種を展示し、自生地の写真や解説を添えて植物に対する興味の高揚を図った。
[展示温室] ゼラニウムなど	ゼラニウム、ハーブ類、セントポーリアとイワタバコの仲間、食虫植物、薬用植物など植物公園が保有するコレクションと、近郊の愛好家が出品するエビネ、セッコク・長生蘭、ウチョウラン、サボテンなど、季節にふさわしい植物を年間18回展示了。
[熱帯スイレン温室] 熱帯スイレンなど	多彩で美しい花を咲かせる熱帯性スイレンを周年開花させ、周辺の草花類に囲まれたエキゾチックな憩いの空間を提供了。オオオニバスを3品種育成して試乗体験会を4日間開催した。また、子どもに人気が高いウツボカズラやハエトリグサなどの食虫植物を常時展示し、模型や説明板も設置して子どもが植物に興味を持つきっかけづくりの場とした。
[ベゴニア温室] 球根ベゴニアなど	季節を問わず美しい花を楽しむことのできる癒しの空間を提供するために、冷暖房と電気照明設備を活用し、世界で最も美しい花の一つといわれる球根ベゴニアと合計650品種の様々なベゴニアを周年開花させて展示した。また、球根ベゴニアの生育過程を解説展示することで、植物を育てることに興味を抱く機会を提供了。

[展示場所] 主な展示植物	内 容
[カスケード] インパチエンス、ペチュニアなど	年間2,000基以上のプランターやコンテナを設置し、季節を代表する草花を展示して家庭園芸の見本とした。また、6月から11月にかけて、2体のモザイカルチャーの展示を行った。
[フクシア温室] フクシア、野生ランなど	風鈴のようにチャーミングな花で人気のあるフクシアを周年開花させ、約100品種160鉢を常時展示した。また、温室の一角に設けた世界の野生ランコーナーでは、常時、開花株を飾るだけでなく、図解でわかりやすくした解説板のほか、香りをかいだりルーペを使って花の詳細を観察することのできる体験型の展示を行った。
[芝生広場] サクラなど	来園者の憩いの場、語らいの場のほかイベント広場として利用した。また、周辺にはサクラ類をはじめマンサク、ロウバイ、アンズなどを植栽し、早春から春にかけて見ごろとなるゾーンとした。ベゴニア温室前では、高さ5メートル以上に育つヒマワリを育成し、普段目にすることがない植物の大きさを楽しむ機会を作った。ログハウス周辺を「ログガーデン」と命名し、バラや宿根草類を植栽し、四季の花が楽しめるイングリッシュガーデン風の展示とした。
[花の進化園] キンポウゲ科、シソ科、キク科、ユリ科、アヤメ科、イネ科など	主に被子植物を分類学上の科ごとに、進化の過程で出現した年代が早いものから遅いものの順で植栽・展示した。説明板を設置し、来園者が実物を観察しながら進化について学び、理解を深めるとともに、植物の不思議な世界に興味を持つきっかけづくりの場とした。
[屋外展示場] 日本サクラソウ、山野草など	愛好家が出品するクレマチス、山野草のほか、日本サクラソウ、変化アサガオ、中国ギクなど植物公園の収集・保存の成果を紹介・展示了。
[ロックガーデンと うらら池散歩道] タカネマツムシソウ、ナミキソウ、セツブンソウなど	ロックガーデンには高山や海岸といった厳しい環境に適応した種を、うらら池の散策路沿いには林床、草原、水辺など里山の環境に自生する種を植栽・展示した。野生植物の多様な姿や絶滅危惧植物を紹介することで、身近な植物を知り、愛好心の涵養を図った。
[バラ園] バラ	広島市に寄贈された品種、野生種、オールドローズや古花と呼ばれる希少な園芸品種の植栽展示に力を入れることで他のバラ園との差別化を図り、バラの遺伝子資源の保全に貢献するとともに、バラに包まれたくつろぎの空間を提供した。
[ツバキ園] ツバキなど	季節感に溢れ、日本が世界に誇る園芸植物の一つであるツバキを植栽し、早春に憩える場を提供した。周囲には、サザンカ類、ヒメシャラなどの野生種も植栽し、夏に心地よい木陰を提供すると同時に晩秋から冬にかけての見どころとした。
[日本庭園] ウメ、ハナショウブ、アジサイなど	本格的な茶室を中心に、ウメ、ハナショウブ、アジサイなど和風の植物を植栽し、落ち着いた雰囲気でくつろげる空間を提供した。ハナショウブ園では後世に伝えたい古花の展示に努め、他園の大規模なハナショウブ園との差別化を図った。また、最奥部では自生地に近い環境を生かし、ヤマアジサイの植栽展示を充実させた。

主な展示植物 〔展示場所〕	内 容
〔樹林観察園〕 シイ類、ブナ、カエデ類など	西南日本の常緑広葉樹林と落葉広葉樹林の構成種を植栽し、これらの樹林の環境や樹木について自生地に行くことなく体感、学習できる場を提供した。
〔こども花壇〕 パンジーなど	約250m ² の中に、ポピー、ヒマワリ、コスモス、パンジーの迷路を季節ごとに作り、子どもが楽しめる場を提供した。
〔展示資料館壁面・ ベゴニア温室前など〕 アサガオの巨大カーテン、 巨大ヒマワリなど	技術力が必要な巨大な植物、珍しい植物など入園者に驚きを与える植物の展示を行った。

【植物の栽培展示数】

(平成26年3月31日現在)

区 分	種 類	本 数
大 温 室	620 品種	10,960 本
サボテン温室	250 品種	850 本
熱帶スイレン温室	150 品種	600 本
ベゴニア温室	650 品種	2,000 本
フクシア温室	140 品種	230 本
栽培温室	3,910 品種	32,520 本
バラ園	850 品種	1,300 本
ツバキ園	200 品種	600 本
花の進化園、樹林観察園その他	3,500 品種	154,800 本
合 計	10,270 品種	203,860 本

b 植物の収集及び栽培管理

名 称	内 容
展示・保存植物 の維持・充実	計画的な増殖や種子・種苗の交換などにより、展示植物や保存植物の維持・充実を図った。
栽培下における増殖	サクラソウ、ハナショウブ類など希少な植物や、球根ベゴニアやフクシアなど周年展示している展示上重要な植物の増殖を行った。
種子・種苗の交換	国内外の植物園などと種子の交換を行い、多くの植物を収集して、貴重な種の保存を行うとともに、育苗して植栽・展示し、植物に関する知識の普及を図った。 譲受け： 18か国 36か所 162種 譲渡し： 10か国 12か所 66種

名 称	内 容
種 苗 の 購 入	ススキノキ、パピリオナンテ、オフィリスなどの珍しい植物のほか、市場などの情報調査によって、季節ごとに展示する魅力ある植物を導入した。
栽培植物の生育管理	生育状態を良好に保ち、病害虫被害の発生を未然に防ぐため、品種ごとに灌水、施肥、剪定、温度・湿度の管理、必要に応じた薬剤散布などを適切に行い、栽培環境の向上を図った。

c 入園料の收受（利用料金制）

【入園状況】

有 料 入 園 者	区分			入園者数	使 用 料	
	個 人	大人	18歳以上 65歳未満	500円	50,346人 25,173,000円	
			65歳以上	170円	10,885人 1,850,450円	
		小人	小・中・高校生及び18歳未満	170円	8,085人 1,374,450円	
	年間パスポート	大人	18歳以上 65歳未満	1,500円	2,630人 3,945,000円	
			65歳以上	500円	1,339人 669,500円	
		小人	小・中・高校生及び18歳未満	500円	305人 152,500円	
	提示	大人	18歳以上 65歳未満	—	16,651人 —円	
			65歳以上	—	4,867人 —円	
		小人	小・中・高校生及び18歳未満	—	1,451人 —円	
団 体		大人	18歳以上 65歳未満	420円	3,463人 1,454,460円	
			65歳以上	130円	493人 64,090円	
		小人	小・中・高校生及び18歳未満	130円	204人 26,520円	
優 待 割 引		大人	18歳以上 65歳未満	420円	115人 48,300円	
			65歳以上	130円	0人 0円	
		小人	小・中・高校生及び18歳未満	130円	13人 1,690円	
小 計				100,847人	34,759,960円	
減免等入園者（小・中学校教育活動、社会福祉施設、その他）				95,470人	0円	
合 计				196,317人	34,759,960円	

※ 65歳以上の利用料金は、7月1日以後の利用において適用した。

d 利用促進

名 称	実施期間(日)	内 容	入園者数等
年間パスポートの販売 (動物園・植物園・昆虫館共同事業)	通 年	より多くの方に植物公園の魅力に触れる機会を提供するため、動物公園・昆虫館と共に利用できる年間パスポートを販売し、利用者に対するサービスの向上及びリピーターの確保を図った。	発行枚数 4,274枚
さくらまつり	25年4月6日 ～25年4月29日 (土・日・祝日)	桜が見ごろになる時期に合わせ、桜観賞会や写真教室、コンサートなどのイベントを実施し、入園者の増加を図った。	12,417人
休園日の開園	25年 4月12日 25年 4月19日 25年 5月 2日 25年10月11日 26年 3月 7日 26年 3月20日	造幣局花のまわりみち、ゴールデンウイーク、秋のグリーンフェア及びランランまつり期間中と祝日の前日の休園日を開園し、利用者に対するサービスの向上及び入園者の増加を図った。	136人 212人 1,651人 564人 721人 117人 合計 3,401人
夜間開園	25年 4月 6日 25年 4月 7日 25年 4月13日 25年 4月14日 25年 8月17日 25年 8月18日 25年 8月24日 25年 8月25日 25年 8月31日 25年 9月 1日 25年11月30日 25年12月 1日 25年12月 7日 25年12月 8日 25年12月14日 25年12月15日 25年12月21日 25年12月22日 25年12月23日	夜に開花する植物(オオオニバス、サガリバナ)、夜に香る植物(夜香木、夜来香)、桜などのライトアップや、キャンドルとイルミネーションを使った幻想的な空間づくり、コンサートなどを行い、植物公園の魅力を向上させ、入園者の増加を図った。	夜間入園者数 (16時以降の入園者数) 204人 321人 811人 205人 1,421人 902人 155人 699人 268人 152人 3,337人 1,854人 3,855人 2,139人 2,890人 2,071人 1,858人 3,724人 1,796人 合計 28,662人
みどりの日・植物園の日記念行事	25年 5月 4日	みどりの日と植物園の日を記念し、花苗のプレゼントやコンサートなど様々なイベントを実施した。	みどりの日 6,084人

名 称	実施期間(日)	内 容	入園者数
区民ウォーキングin植物公園 (佐伯区役所共同事業)	25年 6月 1日	手軽な健康づくりの場としての利用を通じて、植物公園の利用促進を図るために、市民を対象にウォーキング大会を実施した。	296 人
サマーフェア	25年7月13日 ～25年9月1日	夏休み期間中を中心に、ゴーヤなどのツル植物を使った植物のトンネルや巨大カボチャの展示、芝生広場での巨大噴水迷路などを実施し、入園者の増加を図った。	34,271 人
夏休み広島ミュージアムめぐりスタンプラリー (動物園・植物園・昆虫館・ 財團法人広島市未来都市創造財団・ (公財)広島平和文化センター・ (公財)広島原爆障害対策協議会・ 広島高速交通㈱共同事業)	25年 7月20日 ～25年 8月31日	市内の文化施設（12施設）をめぐるスタンプラリーを実施した。（特典：5施設のスタンプを集める毎に1施設へ無料入場）	植物公園でのラリー用紙配布数 2,000 枚 植物公園での特典利用者数 48 人
秋のグリーンフェア 会場としての利用	25年10月5日 ～25年10月14日	秋のグリーンフェア期間中の入園料を無料とし、入園者サービスの向上並びに入園者数及び収入（駐車料など）の増加を図った。	22,669 人
開園記念日 記念行事	25年11月 3日	開園37周年を記念し、シクラメンのプレゼントやコンサート、熱帯果実の試食などを実施した。	開園記念日 893 人

e 施設の維持管理・園内サービス

名 称	実施期間	内 容
施設の維持管理	通 年	入園者に安全・快適な観察環境を提供するため、園内の清掃・警備を行った。また、温室などの建物や機械・電気などの設備を良好な状態で利用できるよう維持管理や小規模修繕を行った。
利 用 案 内	通 年	入園者が快適に観察できるよう、標識、リーフレットや園内放送などにより利用案内を行った。
緊急時などの対応	通 年	傷病者の救護、迷子の捜索・保護、拾得物・遺失物の管理などを行った。
QRコードによる 情 報 提 供	通 年	QRコードを利用して、園内植物等に関する情報を入園者に提供した。

f 施設の維持補修など

名 称	実施期間	内 容
施設の維持補修など	通 年	入園者が安全・快適に施設を利用できるよう、広島市から委託を受け、モザイカルチャー用の苗育成や栽培温室、園内トイレの維持補修を行った。

(イ) 生物多様性の保全

a 他団体との連携

名 称	実施期間	内 容	件 数
都市における自然環境保全活動	通 年	広島市の保存樹・保存樹林指定審査会などへの参加により、都市空間における自然環境保護の推進に寄与した。	保存樹検討会 1 件
ナショナルコレクション構築に関する検討会	通 年	我が国で古くから改良、栽培されてきた植物品種の保全などについて検討する公益社団法人日本植物園協会の検討会に参画した。	検討会 3 件
希少植物の保護	通 年	公益社団法人日本植物園協会からの受入れ要請に基づき、ワシントン条約違反の任意放棄植物を保護した。	拠点園事業 ラン 1 種 1 株

b 生息域内保全

名 称	時 期	内 容	件 数
生息地における絶滅危惧植物の保全	通 年	世羅郡世羅町など広島県内の自生地において、絶滅に瀕したヤチシャジンの調査や保全活動を行った。	11 件

c 生息域外保全

名 称	実施期間	内 容	株 数 等
生息地以外における絶滅危惧植物の保全	通 年	ヤチシャジン、ツルマンリョウ、ヒゴタイなどの日本産絶滅危惧植物及びワシントン条約掲載種を保全した。	日本産 約 120 種 ワシントン条約 74 種
園芸植物遺伝子の保護	通 年	変化アサガオ、日本サクラソウ、バラやランの古い園芸品種など、保護が必要な園芸植物を栽培し、種を保存した。	66 種 約 400 系統

d 植物に関する調査・研究等

名 称	実施期間(日)	内 容	件 数 等
植物に関する調査・研究	通 年	《植生調査》 主に県内の植物分布などの調査を行い、希少植物や分布上貴重な植物について、自生状況を記録するとともに、保護に努めた。	国内 46 回 国外 0 回
		《染色体調査》 植物の染色体情報の解明に努めた。	1 科 2 種
		《成果の公表》 植物に関する調査・研究活動により得られた知見を学会や印刷物により公表した。	12 件

名 称	実施期間(日)	内 容	件 数 等
新 品 種 の 保 護	通 年	独立行政法人種苗管理センターからの委嘱により、種苗法に基づく新規出願品種の現地調査員、種苗登録に関する基準案作成検討委員として活動し、新品種の保護に努めた。	種苗特性分類調査 1 件 基準案作成検討委員会 1 件
各 種 資 料 の 収 集	通 年	植物に関する書籍・雑誌・資料を収集し、栽培などの調査・研究に役立てた。	植物標本等 550 点
研 究 活 動 発 表 会 (動物園・植物園・昆虫館共同事業)	26年 2月 3日	植物公園の研究成果を市民に発表する場を設け、「オオオニバスの栽培と試乗体験会について」と題して発表した。	参加者 80 人

(ウ) 教育・普及

a 社会教育への協力

名 称	実施期間	内 容	件 数 等
講習会・研修会等の開催及び講師の派遣	通 年	団体などからの要請に基づいて、随時、植物公園で講習会・研修会などを開催するとともに、職員を講師として派遣した。	21 件
実習生の受入れ	通 年	大学生などを受け入れ、博物館実習(学芸員実習)を行った。	3 件 9 人

b 市民・団体との協働

名 称	実施期間	内 容	活動者数等
植 物 解 説 ボ ラン テ イ ア	通 年	園内の植物解説活動に当たるボランティアを育成し、活動内容の充実を図った。 解説ボランティア登録人数：59人	活動延べ人数 1,446 人
植 物 管 理 ボ ラン テ イ ア	通 年	園内の植物管理に当たるボランティアを育成し、活動内容の充実を図った。 管理ボランティア登録人数：18人	活動延べ人数 441 人
地 域 団 体 な ど と の 協 働	通 年	造幣局広島支局「花のまわりみち」の桜樹育成指導や文化活動などにより、地域の活性化を図った。	22 件 《内訳》 造幣局桜樹育成指導 1 件 佐伯区の新しい観光 プラン開発会議 1 件 おいでよ佐伯区連絡協議会 1 件 佐伯区百人委員会花部会 9 件 佐伯区花いっぱいのまちづくり講習会 5 件 洋ラン展へ出展協力 2 件 くぬぎの会 1 件 安芸区矢野のサクラ指導 1 件 重慶の日協力 1 件

名 称	実施期間	内 容	活動者数等
グリーン・レガシー ヒロシマへの協力	通 年	被爆樹木の種子を国内外の都市へ送付する活動に対し、種子の保存や送付の協力を行った。	11件
江戸の園芸体験講座 ～変化朝顔～ (財広島市未来都市創造財団)	25年 5月25日	朝顔の歴史と栽培概要	30人
	25年 6月 8日	植木鉢づくりと葉の選抜	27人
	25年 7月13日	江戸の園芸	27人
	25年 9月 1日	江戸の園芸	31人

【愛好者団体等による展示会】

名 称	実施期間	内 容
花 の 写 真 ・ 絵 画 揭 示 板	通 年	写真愛好家などに発表の場を提供するとともに、季節の花情報を紹介した。
おし花美術作品展	25年4月6日 ～25年5月6日	身近な草花や花木を素材としたおし花の美術作品を展示了。
エ ビ ネ 展	25年4月27日 ～25年5月1日	日本の野生ランの中で最も美しく、花色の多いエビネを展示了。
春 の 山 野 草 展	25年4月27日 ～25年5月1日	春咲きの山野草を野趣あふれる鉢作りで展示了。
ク レ マ チ ス 展	25年5月3日 ～25年5月12日	テッセンやカザグルマの名で親しまれる色とりどりの大輪の花が美しいクレマチスの仲間を展示了。
趣 味 の ボ タ ニ カ ル ア ー ト 展	25年5月8日 ～25年5月19日	ボタニカルアート(植物細密画)を展示了。
セッコク・長生蘭展	25年5月11日 ～25年5月16日	日本の野生ランであるセッコクの開花株とセッコクの斑入りなどの特徴を持つ長生蘭を展示了。
「ボタニカルアートで描く 日本固有の植物」展	25年5月21日 ～25年6月12日	ボタニカルアートの全国組織である日本植物画俱乐部との共催により、広島県で初めて全国の会員の作品を展示了。
初夏の小品盆栽展	25年6月15日 ～25年6月20日	フウチソウやツツジなど、初夏に見ごろの植物を小鉢立てで展示了。
ウ チ ョ ウ ラ ナ 展	25年6月15日 ～25年6月20日	初夏に可憐な花を咲かせる小型の野生ランであるウチョウランを岩付けや大鉢づくりで展示了。

名 称	実施期間	内 容
サボテン展	25年6月22日 ～25年7月4日	変化に富んだサボテンや多肉植物を展示した。
写生大会作品展	25年6月22日 ～25年7月11日	植物公園で開催した写生大会の入賞作品を展示した。
私の好きな花たちの写真展	25年7月13日 ～25年8月1日	身近な植物を題材とした写真を展示した。
ボタニカルアート教室作品展	25年8月3日 ～25年9月1日	ボタニカルアート(植物細密画)教室の作品を展示した。
植物友の会作品展	25年9月3日 ～25年9月8日	広島市植物公園植物友の会会員による鉢花や植物写真、美術作品などを展示した。
秋の山野草展	25年9月21日 ～25年9月26日	秋咲きの山野草を野趣あふれる鉢作りで展示した。
ガーデニングコンテスト作品展	25年10月5日 ～25年10月14日	一般公募によるコンテナガーデン(花の寄せ植え)とハンギングバスケットを展示した。
ハンギングバスケット展	25年10月9日 ～25年10月14日	ハンギングバスケットを展示し、作り方などを紹介した。
野生きのこ展	25年10月19日 ～25年10月20日	広島県に自生する様々なキノコを展示した。
寒蘭展	25年11月6日 ～25年11月18日	東洋蘭の中でも特に清楚で気品のある寒蘭を展示した。
新春小品盆栽展	26年1月4日 ～26年1月9日	松・竹・梅など、新春を飾るにふさわしい植物を小鉢仕立てで展示了。
盆栽展	26年1月11日 ～26年1月16日	直幹、模様木、文人作りなど様々な樹形が楽しめるサツキなどの盆栽を展示した。
植物写真コンテスト作品展	26年1月18日 ～26年2月6日	園内の植物や風景をテーマに募集した植物写真コンテストの入賞作品を展示した。
植物日本画展	26年2月8日 ～26年2月27日	四季折々の植物の姿を描いた日本画を展示し、作品などについて解説した。
おもと(万年青)名品展	26年2月22日 ～26年2月26日	葉の斑入り模様や形の変化がおもしろい万年青を展示した。
フラワーデザイン展	26年3月1日 ～26年3月6日	切り花やドライフラワーなど様々な素材を生かしたフラワーデザインの作品を展示した。

名 称	実施期間	内 容
クリスマスローズ展	26年3月1日 ～26年3月9日	多彩な花色と品種に人気があるクリスマスローズを展示した。
「草木染の世界」展	26年3月8日 ～26年4月3日	草木を使った染物と染色に利用される植物などを展示し、作品などについて解説した。

c 植物友の会の活動

会員内訳

(個人会員：131人、家族会員：18家族41人、賛助会員：10社)

名 称	実 施 日	内 容	参加者数等
例 会	25年 5月12日	園内植物観察	39人
	25年 7月14日	「春の野外観察会～野呂山～報告(スライド)」 夏の園芸作業	39人
	25年 9月 8日	秋の園芸作業及び園内植物観察	37人
	25年11月10日	「秋の野外観察会」報告 冬の園芸作業及び園内植物観察	33人
	26年 1月12日	「砂漠に花を求めて～アフリカ南部紀行」 (海外植物調査講演会) 園内植物観察	36人
	26年 3月 2日	総会 園内植物観察など	45人
会 誌 の 発 行	年 4 回	植物の話題や友の会の活動、植物公園の出来事などを載せた会誌「はなの輪」を発行した。	各回 350 冊
野 外 観 察 会	25年 5月25日	チゴユリなどの観察会を行った。 場所：呉市野呂山 講師：細川 哲生氏	20人
	25年10月19日	チゴユリなどの観察会を行った。 場所：呉市野呂山 講師：広島大学大学院教授 山口 富美夫 氏	19人
	25年11月14日	十月桜などの観察会を行った。 場所：東広島市鏡山公園 講師：友の会会長 中島 保廣 氏	8人
講 習 会	25年 8月27日	ヘゴを材料に草木染め講習会を行った。	17人
	25年 8月31日	アートフラワーのショートケーキのクラフトを作る講習会を行った。	6人

d 講座その他催し物の開催

(a) 講座

名 称	実 施 日	内 容	参加者数
ガーデニング講座 ～基礎から応用まで～	25年 5月28日	初めて作るハンギングバスケット	20人
	25年 11月16日	春まで楽しめるハンギングバスケット作り	23人
植物学入門講座	25年 6月 5日	植物の形～進化と環境のはざま～	42人
	25年 6月12日	植物の分布～環境の反映としての存在～	37人
	25年 6月19日	植物を計る～存在の客観的物差し～	35人
暮らしに役立つ ハーブ講座	25年 7月27日	ハーブを使った“料理”“香り使い”“美容と健康”について	20人
	25年 8月 3日		20人
	25年 8月10日		20人

(b) 講習会・実演会

名 称	実 施 日	内 容	参加者数
さくら写真撮影講習会	25年 4月 6日・20日	初心者向けにサクラの写真の撮り方に ついて指導した。	9人 5人
緑のカーテン講習会	25年 4月27日	アサガオやゴーヤなどを使った緑のカー テン作りについて指導した。	21人
春の山野草実演会	25年 4月28日	春の山野草の栽培方法について実演 指導した。	30人
エビネ実演会	25年 4月28日	エビネの育て方について実演指導した。	30人
クレマチス実演会	25年 5月 5日	クレマチスの育て方について実演指導 した。	57人
バラ講習会	25年 5月11日	バラの育て方を指導した。	101人
セッコク実演会	25年 5月12日	日本の野生ランであるセッコクの育て方 について実演指導した。	35人
ハナショウブ実演会	25年 6月 8日	ハナショウブの育て方を実演指導した。	20人

名 称	実 施 日	内 容	参加者数
ヤマアジサイ実演会	25年 6月 9日	ヤマアジサイの育て方を実演指導した。	30 人
小品盆栽実演会	25年 6月16日 26年 1月 5日	小品盆栽の仕立て方、育て方について実演指導した。	21 人 41 人
植物写真撮影講習会	25年 7月21日	初心者向けに植物の写真の撮り方について指導した。	26 人
食虫植物実演会	25年 7月28日	食虫植物を紹介し、栽培方法や魅力について実演指導した。	80 人
ボタニカルアート講 習 会	25年 8月18日	ボタニカルアート(植物細密画)の描き方について指導した。	9 人
佐伯区花いっぱいのまちづくり講習会	25年 8月22日・ 9月11日・ 10月23日・ 11月21日・ 26年 3月17日	地域において花壇づくり等の活動を行うリーダーとなる人材を育成するための講習会を実施した。	12 人 14 人 11 人 9 人 7 人
秋の山野草実演会	25年 9月22日	秋の山野草の栽培方法について実演指導した。	39 人
ガーデニングコンテスト受賞作品解説	25年10月 6日	受賞作品と審査のポイントを解説した。	20 人
ガーデニングライブ(デモンストレーション)	25年10月 6日	ハンギングバスケット制作の実演を実施した。	23 人
寒 蘭 実 演 会	25年11月10日	寒蘭の育て方について実演指導した。	14 人
木 版 画 講 習 会	25年11月23日	1枚の版木で多色刷りを行う特殊な技法による、植物を題材とした版画の作製方法について指導した。	27 人
クリスマスリース作り講 習 会	25年11月24日	クリスマスリースの作り方について指導した。	31 人
チヨコの原料の磨碎実演会	26年 2月11日	広島大学作製のカカオニブ磨碎装置によりドロドロとした状態のカカオマスができる工程について実演解説した。	170 人
植物スケッチ講習会	26年 2月23日	植物のスケッチの仕方について指導した。	20 人
おもと(万年青)実演会	26年 2月23日	万年青の栽培管理について実演指導した。	20 人
クリスマスローズ実演会	26年 3月 1日・2日・ 8日・9日	クリスマスローズの育て方について実演指導した。	50 人 64 人 52 人 64 人

名 称	実 施 日	内 容	参加者数
洋 ラン 実 演 会	26年 3月 2日	洋ランの育て方について実演指導した。	100 人
フラワー デザイン 実 演 会	26年 3月 2日	簡単なフラワーアレンジについて実演指導した。	35 人
洋 ラン 講 習 会	26年 3月 9日	洋ランの魅力や種類、栽培方法などを指導した。	20 人
洋ラン栽培講習会	26年 3月 15日・21日・22日	洋ランの栽培方法について実演指導した。	19 人 26 人 24 人
椎茸栽培講習会	26年 3月 21日	シイタケの植菌とその後の管理について実演指導した。	17 人
草木染講習会	26年 3月 23日	様々な草や木を使った染色方法について指導した。	41 人

(c) 講演会・展示解説

名 称	実 施 日	内 容	参加者数
ボタニカルアート ギャラリートーク	25年 5月 12日	ボタニカルアート(植物細密画)の作品を解説した。	8 人
サボテン展解説	25年 6月 23日	サボテンについて解説した。	70 人
変 化 咲 き アサガオ展解説	25年 8月 25日	変化咲きアサガオについて解説した。	3 人
「蘭花譜展」講演会	25年 10月 23日	「加賀家の蘭栽培を支えた後藤兼吉について」と題して講演を行った。 講師:小田 善一郎 氏	29 人
	25年 11月 2日	「蘭花譜をめぐって」と題して講演を行った。 講師:国立科学博物館筑波実験植物園研究主幹/遊川知久 氏	49 人
カカオとチョコの 講 演 会	26年 2月 9日	神の食べ物「チョコレート」とその原料であるカカオの不思議な世界について講演を行った。 講師:広島大学名誉教授 佐藤 清隆 氏	60 人
植物日本画展 ギャラリートーク	26年 2月 23日	植物日本画展の作品等について解説した。	14 人
「草木染の世界」展 ギャラリートーク	26年 3月 23日	「草木染の世界」展の作品等について解説した。	32 人

(d) コンクール

名 称	実施期間(日)	内 容	応募点数等
ラン審査会	25年 5月 3日	ランの栽培技能の向上を図るため、ラン展示協力団体から出品されたランの審査を行い、優秀作品を表彰した。	27人 152点
	25年10月19日		23人 119点
	26年 2月28日		80人 581点
写生大会 (中国新聞社共催)	25年 5月18日	幼児、小・中学生を対象に、植物公園の植物や園内風景を題材とした写生大会を実施し、優秀作品を表彰した。	応募 入選 543点 131点
ガーデニングコンテスト	25年8月1日 ~25年9月14日	コンテナガーデン(花の寄せ植え)とハンギングバスケットを一般公募し、10月14日に優秀作品を表彰した。	応募 入選 74点 44点
植物写真コンテスト	25年9月1日 ~25年11月30日	植物公園の植物や園内風景を題材とした写真を募集し、1月18日に優秀作品を表彰した。	応募 入選 457点 58点

(e) 観察会・観賞会

名 称	実 施 日	内 容	参加者数
季節の花さんぽ	25年 4月 9日・27日	イカリソウなどの山野草やハンカチノキなどの観察を行った。	38人 11人
	25年 5月 14日・25日	ナンジャモンジャやバラ園などの観察を行った。	23人 19人
	25年 6月 11日・22日	ヤマアジサイやハナショウブなどの観察を行った。	29人 18人
	25年 7月 9日・27日	タマアジサイやヒゴタイなどの観察を行った。	15人 7人
	25年 8月 13日・24日	巨大ヒマワリやサギソウなどの観察を行った。	10人 5人
	25年 9月 10日・28日	オオモクゲンジやフジバカマなどの観察を行った。	29人 27人
	25年10月 8日・26日	原種シクラメンやホトトギスなどの観察を行った。	13人 13人
	25年11月 12日・23日	コダチダリアや野生菊などの観察を行った。	20人 13人
	25年12月10日	カカオやブーゲンビレアなどの温室植物の観察を行った。	14人
	26年 1月 14日・25日	ピンクボールやシナマンサクなどの観察を行った。	22人 16人

名 称	実 施 日	内 容	参加者数
季節の花さんぽ	26年 2月 11日・22日	セツブンソウやユキワリイチゲなどの観察を行った。	16人 20人
	26年 3月 11日・22日	登竜梅やヒスイカズラなどの観察を行った。	28人 21人
あおぞら自然観察会 (動物園・植物園・昆虫館共同事業)	25年 6月 8日	カキツバタやマムシグサなどの植物、カワラヒワやアカハライモリなどの動物、ヒロシマサナエやウスバシロチョウなどの昆虫の観察を行った。 場所:山県郡北広島町八幡湿原	90人
大温室空中散歩	25年 4月 21日・28日 29日		402人
	25年 5月 3日～6日		598人
	25年10月 5日・6日		690人
	12日・13日		
	14日		
	26年 3月 2日・8日		495人
	9日		
きのこ観察会	25年10月20日	園内のキノコの観察を行った。	55人
野鳥観察会	26年 1月13日	園内に飛来する野鳥の観察を行った。	43人

(f) 植物教室その他催し物

名 称	実 施 日	内 容	参加者数等
オリエンテーリング	25年 5月 4日		500人
	25年 7月13日		3,535人
	~25年 9月 1日		
	25年10月 5日		4,500人
	~25年10月14日		
	25年11月 2日・3日・4日	みどりの日、サマーフェア、秋のグリーンフェアや開園記念日に、オリエンテーリングなどを開催し、参加者に記念品を贈呈した。	745人
ハナショウブ & アジサイまつり	25年6月8日 ~25年6月30日 (土・日)	ハナショウブやアジサイの見ごろの時期に合わせ、栽培講習会のほか、日本庭園においてお茶会、花の解説などを実施した。	5,049人
親子植物体験教室	25年 7月24日	小学校1～3年生とその保護者を対象に、植物の観察などを通じて、植物について楽しく学べる教室を実施した。	21組 46人
オオオニバス試乗体験会	25年 8月 21日・24日 25日・27日	小学生(低学年)以下を対象に、オオオニバスの葉に乗る体験会を実施した。 (27日は予約制)	1,181人

e 学校教育活動の受入れ

名 称	実施期間	内 容	件 数 等
自然体験学習の受入れ	通 年	植物の観察や植物とのふれあいを目的として、市立小・中学校の児童・生徒などを受け入れた。	20 件 1,635 人
職場体験などの受入れ	通 年	中・高校、大学等の学外実習として、職場体験などを受け入れた。	5 件 40 人

f 企画展その他展示会の開催

名 称	実施期間	内 容
サクラソウ展	25年4月13日 ～25年4月25日	花の形や色の変化に富むサクラソウを展示した。
春の洋ラン展	25年5月3日 ～25年5月9日	春咲きのランの原種や交配種を展示し、春のランの魅力を紹介した。
ハーブ展	25年5月18日 ～25年5月30日	ハーブとして利用されている植物とその利用方法を紹介した。
ヤマアジサイ展	25年5月25日 ～25年6月13日	花の色の変化に富むアジサイの原種や園芸品種を展示した。
セントポーリアとイワタバコの仲間展	25年6月1日 ～25年6月13日	可憐で人気のあるセントポーリアとその仲間のイワタバコ属を展示した。
ガクアジサイとアジサイの仲間展	25年6月15日 ～25年6月30日	豪華で花色も豊富なガクアジサイとアジサイの仲間を展示した。
夏のカラフルリーフ展	25年7月6日 ～25年7月25日	斑入り植物や様々な色の葉を持つ植物を展示した。
世界の食虫植物展	25年7月27日 ～25年8月8日	ハエトリグサやウツボカズラなど、子供たちに人気のある世界の食虫植物を展示した。
アサガオの巨大カーテン	25年7月 ～25年11月	夏休み期間中から秋までが見ごろのアサガオを使い、展示資料館の外壁に巨大な緑のカーテンを作つて展示した。
薬用植物展	25年8月10日 ～25年9月29日	トチュウやキキョウなどの薬用植物を展示した。
変化咲きアサガオ展	25年8月24日 ～25年9月1日	珍しい変化咲きのアサガオを展示した。

名 称	実施期間	内 容
特別企画展 「蘭花譜展」	前期 25年9月14日 ～25年10月17日 中期 25年10月19日 ～25年11月21日 後期 25年11月23日 ～25年12月23日	蘭に魅せられた趣味人 加賀正太郎によるランの木版画を展示した。
ダリアの世界展	25年10月5日 ～25年10月17日	近年人気の高いダリアの品種を展示した。
秋の洋ラン展	25年10月19日 ～25年11月4日	カトレヤやパフィオペディルムなど洋ランの園芸品種と珍しい原種を展示した。
キク展	25年10月26日 ～25年11月10日	日本と中国の交流の証である中国の菊花と、日本の園芸菊を使った日本風の作品を展示した。
クリスマスを飾るフラワー展	25年11月20日 ～25年12月25日	シクラメン、ポインセチアやカラソコエなど、クリスマスにちなんだ植物とその飾り方を紹介した。
カランコエと冬の鉢花展	26年1月18日 ～26年2月6日	カランコエを主体にシクラメンなどの冬の鉢花を展示し、品種や栽培方法などをパネルで紹介した。
カカオとチョコの秘密展	26年2月1日 ～26年2月16日	チョコレートの歴史や作り方のほか、原料であるカカオの魅力を紹介した。
ランらんまつり	26年3月1日 ～26年3月9日	洋ランの普及・啓発を目的に、洋ラン愛好団体、生産者などと協力し大規模な展示を行うとともに、ランに関する様々なイベントを行った。
ゼラニウム展	26年3月15日 ～26年4月23日	多彩な花色と葉の模様・色が美しいゼラニウムや、豪華なペラルゴニアなどを展示した。

g 広報普及

名 称	実施期間	内 容	件 数 等
マスコミ広報	通 年	テレビ局・ラジオ局・新聞社・出版社などを通じて、植物の見ごろの時期や催し物などについては毎月、珍しい植物の開花状況などについては随時、広報を行った。	テ レ ビ 60 件 ラ ジ オ 19 件 新 聞 37 件 情報誌等 244 件 計 360 件
催し物案内ポスター・PR用チラシの配布	通 年	催し物案内ポスターやPR用チラシを作製し、公共施設などに配布した。	ポスター 663 か所 チラシ 1,914 か所

名 称	実施期間	内 容	件 数 等
植物写真パネルなどの貸出し	通 年	植物や園内風景などを撮影した写真パネル・ポジ・ネガなどを公共施設や事業所などに貸し出し、植物公園のPRを図った。	4か所 59点
インターネット・ホームページ広報	通 年	インターネットを通じて、施設の紹介、催し物、開花状況などの最新情報を提供了。	アクセス件数 96,790件
メールマガジンの発行	通 年	催し物や開花状況などの情報を、登録した読者のパソコンや携帯電話に配信した。	メールマガジン登録 656人 ミニまぐ登録 64人
デジタルサイネージによる情報発信	通 年	シャレオ中央広場、東急ハンズ、安佐市民病院において静止画を配信し、植物公園のPRを行った。	6回
アストラムライン駅への電照広告	通 年	アストラムライン県庁前駅に電照広告を行い、植物公園のPRを行った。	1か所

h 出版物の発行

名 称	発行部数	内 容
「紀 要」	200部	
「栽培記録」	300部	
「栽培の手引き」	680部	
「種 子 目 錄」	37部	
「年 報」	70部	各種の出版物を発行、配付して、国内外の植物園・大学・各関係機関と知識などの交換を行い、相互の交流を深め、植物園事業の発展を図るとともに、植物に関する知識の普及及び植物園事業の周知を図った。

i 植物に関する相談

名 称	実施期間	内 容	件 数
植物園芸相談	通 年	植物の栽培方法など、植物に関する相談を受けて助言指導した。	2,454件

エ 昆虫館の管理運営 [公2事業]

広島市から指定（期間：平成22年4月1日～平成26年3月31日）を受けた昆虫館における昆虫の飼育・展示、収集及び飼育管理、入館料の収受、施設の維持管理などを行い、入館者が施設を安全かつ快適に利用できるよう努めた。

また、他団体との連携や調査・研究の成果を生かして、生息域内保全と生息域外保全の両面から生物多様性の保全に貢献するとともに、社会教育への協力、学校教育活動の受入れや観察会その他催し物の開催など各種事業を実施し、昆虫に関する知識及び昆虫愛護思想の普及、涵養並びに昆虫愛好者の育成を図った。

(ア) 昆虫の飼育・展示など

a 昆虫の飼育・展示

[展示場所] 主な展示昆虫	内 容	
[パピヨンドーム] チョウ類	亜熱帯の花が咲き乱れるジャングルを再現した温室に、オオゴマダラ、リュウキュウアサギマダラ、ツマベニチョウ、イシガケチョウなど10種500頭以上の沖縄産チョウ類を放蝶し、吸蜜、飛翔、求愛、交尾、産卵などチョウの様々な行動を目の当たりに観察できる展示を行った。	
[昆虫ランド] 外国産昆虫	ヘラクレスオオカブトムシ、ハナビラカマキリ、ヒレアシユウレイナナフシ、ウガンダオオツノハナムグリなど、子どもに人気のある外国産昆虫を展示了。	
陸 生 昆 虫	[昆虫ランド] 夜行性昆虫	オオクワガタ、カブトムシ、タイワンクツワムシ、ヤエヤマクチキコオロギなど夜に活動する昆虫を照明を昼夜反転させて展示了。入館者が自由にスイッチを押すことで、スポット照明が点灯して、野外で懐中電灯を照らしながら昆虫を観察する状況を再現した。鳴く虫については、小型マイクとスピーカーを使い、鳴く姿と鳴き声を同時に観察できるよう展示了。
	[昆虫ランド] 昼行性昆虫	オオカマキリ、ナナホシキンカメムシ、トノサマバッタなど昼に活動する昆虫を展示了。
	[昆虫ランド] 季節の昆虫	ハンミョウ、オンブバッタ、ツチイナゴなど広島県に分布し、季節の移り変わりを感じさせる昆虫を展示了。
[昆虫ランド] 水生昆虫	ゲンゴロウ、タガメ、ミズカマキリなどの水生昆虫をそれぞれの生息環境にすむその他の水生生物（オタマジャクシ、魚類、甲殻類）とともに展示了。ゲンゴロウ類については1日3回の餌やりショーも実施した。	
[昆虫ランド] 職員おすすめ！ 旬の昆虫	ツチハンミョウ、ヤママユガの幼虫、ウラギンシジミの幼虫など、飼育技術が確立していない、あるいは出現期が短く、長期の飼育には向かない昆虫を展示了。	
[昆虫ランド] 昆虫以外の陸生節足動物	昆虫との違いを観察し、昆虫に関する理解や知識を深めるため、一般的に昆虫と間違えやすいオオゲジ、サソリ、タランチュラなど、昆虫以外の陸生節足動物を展示了。	
[昆虫ランド] なつかしい身近な生き物	サワガニ、アメリカザリガニ、カブトエビ、スジエビ、モリアオガエルのオタマジャクシなど40代以上の人々が子どもの頃、遊びのなかで出会っていた昆虫以外の小動物を展示了。	

【昆虫の飼育展示数】

(平成26年3月31日現在)

区分	種類	頭数
チョウ(パピヨンドーム)	10種	730頭
外 国 产 昆 虫	44種	268頭
水 生 昆 虫	19種	106頭
夜 行 性 昆 虫	28種	603頭
昼 行 性 昆 虫	25種	590頭
昆 虫 以 外 の 小 動 物	27種	71頭
合 計	153種	2,368頭

b 昆虫の収集及び飼育管理

名 称	内 容
展示昆虫の維持及び種の保存	計画的な採集や交換などにより、累代飼育を適正に行い、展示昆虫を維持するとともに、保護が必要な昆虫を飼育し、種の保存に取り組んだ。
近交弱勢防止のためのチョウその他の昆虫の採集	累代飼育の結果生じる近交弱勢を防止するため、広島県内のほか、沖縄県西表島や鹿児島県沖永良部島などでチョウ類やバッタ、クワガタ、カメムシ類などの昆虫を採集した。
昆 虫 の 交 換	近交弱勢などを防止するため、他の昆虫展示施設と余剰昆虫を交換した。 譲受け：オオクワガタなど3種 譲渡し：マダガスカルゴキブリ
チョウその他の昆虫の累代飼育	他の動物に比べ比較的寿命の短い昆虫を周年展示するために、チョウ類10種、その他の昆虫約110種を累代飼育した。
新しい展示分野開拓のための採集	新しい展示分野を開拓するため、広島県内のほか、沖縄県西表島や石垣島などで、ゲンゴロウ類などの水生昆虫、タイワンツチナゴ等の大型バッタ類、キンカメムシ類、ゴキブリ類、ナナフシ類、甲虫類などを採集した。
外国産昆虫の導入と飼育	アフリカ産の大型ハナムグリ等の外国産昆虫を導入し、累代飼育の確立に努めた。
飼育昆虫の成育管理	成育状態を良好に保つため、温度・湿度の管理のほか、チョウその他の昆虫の飼育及び展示に不可欠な蜜源植物及び食草を周年栽培・維持管理し、飼育環境の向上を図った。

c 入館料の収受（利用料金制）

【入館状況】

区分				入館者数	使用料	
有料入園者	個人	大人	18歳以上 65歳未満	500円	20,401人 10,200,500円	
			65歳以上	170円	1,488人 252,960円	
		小人	小・中・高校生及び18歳未満	170円	7,297人 1,240,490円	
	年間パスポート	大人	18歳以上 65歳未満	1,500円	1,167人 1,750,500円	
			65歳以上	500円	46人 23,000円	
		小人	小・中・高校生及び18歳未満	500円	304人 152,000円	
	提示	大人	18歳以上 65歳未満	—	5,866人 —円	
			65歳以上	—	164人 —円	
		小人	小・中・高校生及び18歳未満	—	912人 —円	
	団体	大人	18歳以上 65歳未満	420円	1,173人 492,660円	
			65歳以上	130円	3人 390円	
		小人	小・中・高校生及び18歳未満	130円	304人 39,520円	
	優待割引	大人	18歳以上 65歳未満	420円	40人 16,800円	
			65歳以上	130円	—人 —円	
		小人	小・中・高校生及び18歳未満	130円	13人 1,690円	
小計				39,178人	14,170,510円	
減免等入園者（小・中学校教育活動、社会福祉施設、その他）				43,563人	0円	
合計				82,741人	14,170,510円	

※ 65歳以上の利用料金は、7月1日以後の利用において適用した。

d 利用促進

名称	実施期間(日)	内容	入館者数等
年間パスポートの販売 (動物園・植物園・昆虫館共同事業)	通年	より多くの方に昆虫館の魅力に触れる機会を提供するため、動物公園・植物公園と共に利用できる年間パスポートを販売し、利用者に対するサービスの向上及びリピーターの確保を図った。	発行枚数 1,517枚
入館者300万人達成記念行事	25年 4月25日	300万人目の入館者に記念品と花束を贈呈し、くす玉割を行った。また、達成後の入館者に記念シールを配布した。	記念シールの配布枚数 3,000枚

名 称	実施期間(日)	内 容	入館者数等
休 館 日 の 開 館	25年 5月 1日		入館者数 66 人
	25年 7月 24日		175 人
	25年 7月 31日		333 人
	25年 8月 7日		278 人
	25年 8月 14日		847 人
	25年 8月 21日		212 人
	25年 8月 28日		307 人
	25年 10月 2日		414 人
	25年 10月 9日		75 人
	25年 10月 16日		360 人
	25年 10月 23日		0 人
	25年 10月 30日		254 人
		合計 3,321 人	
夏休み広島ミュージアムめぐりスタンプラリー(動物園・植物園・昆虫館・ ㈱広島市未来都市創造財団・ (公財)広島平和文化センター・ (公財)広島原爆障害対策協議会・ 広島高速交通㈱共同事業)	25年 7月 20日 ～25年 8月 31日	市内の文化施設(12施設)をめぐるスタンプラリーを実施した。(特典: 5施設のスタンプを集める毎に1施設へ無料入場)	昆虫館でのラリー用紙配布数 1,000 枚 昆虫館での特典利用者数 36 人

e 施設の維持管理・館内サービス

名 称	実施期間	内 容
施設の維持管理	通 年	入館者に安全・快適な観察環境を提供するため、館内の清掃・警備を行った。また、建物や機械・電気などの設備を良好な状態で利用できるよう維持管理や小規模修繕を行った。
利 用 案 内	通 年	入館者が快適に観察できるよう、標識、リーフレット、館内放送などにより利用案内を行った。
緊急時などの対応	通 年	傷病者の救護、迷子の捜索・保護、拾得物・遺失物の管理などを行つた。

(イ) 生物多様性の保全

a 他団体との連携

名 称	実施期間	内 容	件 数 等
希少昆虫の生態調査及び自然環境保護の推進	通 年	ミヤジマトンボ保護管理連絡協議会、ヒヨウモンモドキ保全地域協議会に参加し、環境省、広島県、三原市、廿日市市と連携してミヤジマトンボ、ヒヨウモンモドキ等の希少昆虫の調査や生息地の環境保全活動を行った。	32 件 《内訳》 ミヤジマトンボ 13 件 ヒヨウモンモドキ 19 件

b 生息域内保全

名 称	実施期間	内 容	件 数
生息地における絶滅危惧昆虫の保全	通 年	生息地域における住民との協働により、ホタル、ギフチョウなどの保護活動を行うとともに、地域の活性化を図った。	2 件 《内訳》 安佐北区玖谷 1 件 山県郡北広島町 1 件

c 生息域外保全

名 称	実施期間	内 容	件 数 等
生息地以外における絶滅危惧昆虫の保全	25年8月 ～26年3月	広島県から委託を受け、「特定野生生物種ミヤジマトンボ」の採卵、孵化、人工飼育、放流を実施するなど、日本の絶滅危惧昆虫の保全に取り組んだ。	調査・採卵 8月・9月 孵化・人工飼育 8月～12月 放流 12月(放流頭数392頭)

d 昆虫に関する調査・研究等

名 称	実施期間(日)	内 容
昆虫相の調査・研究	通 年	広島県、沖縄県などで採集と昆虫相の調査を行い、ゲンゴロウ等の水生甲虫、草原性のチョウ類などの希少昆虫のほか、限定した場所にしか生息しないカマドウマ類など分布上希少な昆虫の生息状況を記録した。また、採集した昆虫を飼育して累代飼育の確立のための研究を行うとともに、採集した昆虫の一部を標本資料として保管した。
各種資料の収集	通 年	昆虫に関する書籍・雑誌・資料を収集し、累代飼育などの調査・研究に役立てた。
研究活動発表会 (動物園・植物園・昆虫館共同事業)	26年 2月 3日	昆虫館の研究成果を市民に発表する場を設け、昆虫館で普及啓発活動として12年間続いている保育園等での昆虫ふれあい体験活動の経緯、実績及び今後の展望について発表した。(参加者 80人)

(ウ) 教育・普及

a 社会教育への協力

名 称	実施期間	内 容	件 数 等
講習会・観察会への講師の派遣	通 年	公民館、児童館、その他の公共施設などが実施する昆虫及び自然環境に関する講習会・自然観察会に職員を講師として派遣した。	10 件 4,849 人
実習生の受入れ	通 年	大学生などを受け入れ、博物館実習(学芸員実習)を行った。	2 人 (内訳) 広島市立大学 1人 九州産業大学 1人
大学との連携	通 年	昆虫をテーマとした講師の派遣、情報交換を行った。	15 件 646 人

b 学校への職員派遣

名 称	実施期間	内 容	件 数 等
出張自然体験活動	通 年	命の大切さを伝えるため、幼稚園・保育園に職員を派遣し、昆虫とのふれあい体験を行った。	380 件 10,267 人
総合的な学習時間の支援	通 年	小学校に職員を派遣し、昆虫及び自然環境をテーマとした総合学習の指導を行った。	8 件 303 人

c 市民・団体との協働

名 称	実施期間	内 容	活動者数
昆虫解説・作業ボランティアの育成	通 年	館内で昆虫解説やふれあい体験活動などに当たるボランティアや、昆虫の住みやすい環境づくりのために館周辺の樹木や植物の維持管理などの作業に当たるボランティアを育成し、活動内容の充実を図った。 ボランティア総数：14人	活動延べ人数 5 人
ボランティアとの共同イベント	通 年	お絵かき広場や本の読み聞かせなどボランティア主催のイベントを支援した。	活動延べ人数 1 人
木の実・落ち葉で遊ぼう (広島市森林公園)	25年11月23日 25年11月24日	秋の木の実や落ち葉を使って、人形、ステンドグラス、葉や貼り絵などの工作教室を実施した。(招聘講師：広島県ネイチャーゲーム協会会員)	131 人 166 人 合計 297 人

名 称	実施期間	内 容	活動者数
ふたりで虫タッチ (広島市森林公園)	26年 2月 8日 26年 2月 9日 26年 2月11日 26年 3月 8日 26年 3月 9日	入館者の少ない冬と早春の時期の入館者の増加を図るため、バレンタインデー、ホワイトデーに合わせ、若いカップル向けのイベント（虫とのふれあい体験、チョウとの記念撮影）を実施した。	14人 102人 220人 112人 402人 合計 850人
ポニーの乗馬体験 (広島市森林公園)	26年 3月22日	入館者の増加を図るため、広島市森林公園と協働で「ポニーの乗馬体験」を実施した。 (協力:MRC乗馬クラブ広島)	160人
動物愛護バザーと譲渡犬展示 (広島市森林公園)	26年 3月22日	入館者の増加を図るため、広島市森林公園と協働で「動物愛護バザーと譲渡犬展示」を実施した。(協力:パウズハート、動物管理センター)	340人

d 昆虫館友の会の活動

会員内訳

(個人会員：9人、家族会員：25家族90人)

名 称	実施日・回数	内 容	参加者数等
講 習 会 等	25年 9月 7日	秋の企画展示で展示する鳴く虫の採集を行った。 場所：安佐北区深川	17人
	25年10月 6日	ため池のトンボの種の移り変わりの調査 (定点観測調査、5年目)を行った。 場所：東広島市志和町	14人
	25年11月16日	外国産カブトムシ類の標本作製を体験した。 場所：昆虫館	6人
	26年 3月 8日	講演会「こどもと歩む昆虫館」を開催した。 場所：昆虫館	6人
	26年 3月 8日	財団法人広島市未来都市創造財團文化財課の職員を講師に迎えて、火起こし、古代米の試食、勾玉作りを体験した。 場所：森林公園内林業体験広場	6人
会 誌 の 発 行	年 1 回	友の会の活動、昆虫に関する知識や話題を載せた会誌「むしむし俱楽部」を発行した。	各 200 冊

名 称	実施日・回数	内 容	参加者数等
野外観察会	25年 4月13日	ギフチョウの観察を行った。 場所:安佐北区玖谷	9人
	25年 6月 8日	ヒヨウモンモドキの観察を行った。 場所:三原市久井町	7人
	25年 6月15日	ゲンジボタルの観察を行った。 場所:安佐北区白木町	30人
	25年 8月 4日 25年 8月 5日	ダイコクコガネなどの草原の昆虫の観察及び 夜間灯火に集まる昆虫の観察を行った。 場所:庄原市比和町吾妻山	17人
希少昆虫の生息地 の環境整備	25年 4月27日	ヒヨウモンモドキの生息地の食草保護と 雑草刈りを行った 場所:三原市久井町	9人
	25年 5月11日	ギフチョウの産卵数の調査と下草刈りを行った。 場所:安佐北区玖谷	7人
	25年 8月17日	ヒヨウモンモドキの生息地の雑草刈りを行った 場所:三原市久井町	12人

e 観察会その他催し物の開催

(a) コンクール

名 称	実 施 日	内 容	参 加 者 数
ぼくとわたしのカブ クワジマン	応募期間 6/ 1~7/12 作品展示 7/13~9/1 表彰式 9/ 1	カブト・クワガタをテーマとした絵画、工作のコンテストを実施し、優秀作品を表彰した。	応募者数 23人 応募者数 24点 入賞点数 24点
むしむし写真 コンテスト	応募期間 5/ 2~9/30 作品展示 1/11~3/ 2 表彰式 1/11	昆虫をテーマとした写真コンテストを実施し、優秀作品を表彰した。	応募者数 98人 応募者数 337点 入賞点数 23点
まゆ玉細工 コンテスト	応募期間 1/11~3/ 2 作品展示 1/11~3/ 2 表彰式 3/30	カイコのまゆを材料にした作品のコンテストを実施し、優秀作品を表彰した。	応募者数 67人 応募者数 67点 入賞点数 15点

(b) 観察会

名 称	実 施 日	内 容	参加者数
季節の虫さがし	25年 5月12日	アゲハチョウ、コツバメ、ゴマダラチョウ、ヒメオサムシなど春から初夏の虫の観察を行った。	18人
	25年 7月 7日	ギンヤンマ、コクワガタなどの初夏から夏の虫の観察を行った。	13人
	25年 9月 8日	ツクツクボウシ、キトンボ、コシアキトンボなど晩夏の虫の観察を行った。	13人
	25年10月 6日	ハラビロカマキリ、ヤママユガなど秋の虫の観察を行った。	14人
虫みつけ！	25年 5月19日 (同日2回実施)	飼育室で様々な昆虫と触れあった。 (雨天のため、予定を変更して実施)	52人
	25年 9月15日 (同日2回実施)	オンブバッタ、ナナフシ、オカダンゴムシなど足元で見つけられる昆虫や小動物を観察した。(幼児と保護者対象)	53人
あおぞら自然観察会 (動物園・植物園・昆虫館共同事業)	25年 6月 8日	ヒロシマサナエやウスバシロチョウなどの昆虫、カワラヒワやアカハライモリなどの動物、カキツバタやマムシグサなどの植物の観察を行った。 場所：山県郡北広島町八幡湿原	90人
昆虫ナイトウォーク	25年 7月21日 25年 7月27日	夜に活動する昆虫、樹液に集まる昆虫や灯りに集まる昆虫の観察を行った。	71人 102人 合計 173人

(c) 昆虫教室その他催し物

名 称	実施期間(日)	内 容	参加者数
飼育室探検ツアーワーク	25年 4月13日		44人
	25年 5月11日		26人
	25年 5月18日		58人
	25年 5月25日		52人
	25年 9月 7日		47人
	25年 9月28日		29人
	26年 1月18日		36人
	26年 1月25日		28人
	26年 2月15日		31人
	26年 2月22日	普段は見ることのできない飼育室や温室などを開放し、昆虫館の仕事や昆虫への興味を深める機会を提供した。	35人 合計 386人

名 称	実施期間(日)	内 容	参加者数
むしむし折り紙 教室	25年 4月 7日 25年 4月14日	幼児や児童とその保護者を対象に、折り紙でいろいろな昆虫を作る教室を開催した。	130人 444人 合計 574人
親 子 で 虫 タ ッ チ !	25年 6月 2日	幼児や児童とその保護者を対象に、年齢に合わせていろいろな昆虫に触れ合える体験イベントを実施した。	167人
	25年 6月 9日		234人
	25年 6月16日		390人
	25年 6月23日		498人
	25年 6月30日		499人
	26年 3月 9日		344人
	26年 3月16日		544人
	26年 3月21日		160人
	26年 3月22日		402人
	26年 3月23日		482人
	26年 3月30日		220人
			合計 3,940人
こんちゅう館 1日館長さん	25年 7月14日	小学生を対象に、「1日館長」を募集して夏休みのイベントや昆虫の飼育補助を行ってもらった。	5人
	25年 7月21日		5人
	25年 7月28日		5人
	25年 8月14日		6人
	25年 8月16日		7人
	25年 8月18日		6人
			合計 34人
夏 休 み 子 ど も 昆 虫 相 談	25年 7月20日 ~25年 9月 1日	夏休みの自由研究の疑問点など、昆虫に関する相談を受けて、助言、指導を行った。	8件
昆 虫 館 で クリスマス ! !	(福引) 25年12月 1日 25年12月 8日 25年12月15日 (キャンドル・クレヨン作り) 25年12月 7日 25年12月14日 25年12月21日 25年12月22日 25年12月23日	12月1日からクリスマスまでの土・日曜日、祝日に福引(賞品は世界のカブト・クワガタの標本)や蜜ろうを使ったキャンドル・クレヨン作り体験イベントなどを実施した。	(福引) 682人 (うち当選者 16人) (キャンドル・クレヨン作り) 103人 合計 785人
まゆ玉細工工作	26年 1月11日 ~26年 3月 2日	まゆ玉を使って自由に工作する工作教室を開催した。	341人

f 学校教育活動の受入れ

名 称	実施期間	内 容	件 数 等
自然体験学習の受入れ	通 年	昆虫の観察や昆虫とのふれあいを目的として、幼稚園・保育園の園児や小・中学校の児童・生徒を受け入れた。	219 件 7,629 人
職場体験の受入れ	通 年	中学校の職場体験学習に協力し、昆虫館の職場体験を希望する生徒を受け入れた。	2 件 7 人

g 企画展その他展示会の開催

名 称	実施期間	内 容
スプリングフェスタ 「チョウとお花と ハチミツと」	25年4月20日 ～25年5月6日	「身近な春を感じる」をテーマとして、春に出現するチョウを標本や写真パネルで紹介するとともに、生きたミツバチを展示した。またチョウの羽化ショー、ハチミツ採りショー、チョウと一緒に記念撮影など様々な関連イベントを実施した。
むしむしおえかき	25年 5月 1日 ～26年 3月31日	広島市立の保育園の園児が描いた虫の絵を保育園ごとにまとめて展示した。(1か月ごとに展示替え)
世界のカブト・ クワガタ	25年7月13日 ～25年9月1日	世界の生きたカブトムシ・クワガタムシを展示するとともに、ふれあい体験や記念撮影、カブ・クワバトルショー、「一日館長」などのイベントを実施し、ぼくとわたしのカブクワじまんの応募作品を展示した。
秋の鳴く虫展	25年9月14日 ～25年9月23日	美しい声で鳴く生きた秋の虫を展示した。
キラキラ昆虫	25年10月12日 ～25年11月4日	モルフォチョウ、ウグイスコガネ、キンカメムシなど美しい金属光沢を持つ世界の昆虫を集めて、生体と標本を展示した。また、キラキラ光る理由やその仕組みについても解説した。
むしむし写真 コンテスト 入賞作品展	26年1月11日 ～26年3月2日	むしむし写真コンテストの入賞作品を展示した。
クモ・サソリ	26年 1月12日 ～26年 2月23日	バードイーターランチュラ、フラットロックサソリなど世界の大型節足動物の生体を展示した。生態や分類学上の位置、昆虫との体のしくみの違いについて解説した。
まゆ玉細工作品展	26年 1月11日 ～26年3月2日	まゆ玉細工コンテストの応募作品を展示した。

h 広報普及

名 称	実施期間	内 容	件 数 等
マスコミ広報	通 年	テレビ局・ラジオ局・新聞社・出版社などを通じて、昆虫館の展示や催し物などの広報を行った。	テレビ 16 件 ラジオ 3 件 新聞 3 件 情報誌等 1 件 計 23 件

名 称	実施期間	内 容	件 数 等
催し物案内ポスター・P R用チラシの配布	通 年	催し物案内ポスターやP R用チラシを作製し、公共施設などに配布した。	ポスター 1,000 か所×1回 700 か所×2回 チラシ(新聞折込) 100,000 枚×1回 105,000 枚×1回 110,000 枚×2回 118,000 枚×1回
インターネット・ホームページ広報	通 年	インターネットを通じて、施設の紹介、催し物、展示昆虫や季節の昆虫などの最新情報を提供した。	アクセス件数 40,553 件
デジタルサイネージによる情報発信	通 年	人通りの多い市内4か所に設置されたデジタルサイネージに施設の紹介、催し物、展示昆虫や季節の昆虫などの最新情報を提供した。	6 件
ひろしまこども夢財団の携帯電話情報サービスの活用	通 年	ひろしまこども夢財団の携帯電話情報サービス(会員約2万人)に施設の紹介、催し物、展示昆虫や季節の昆虫などの最新情報を提供した。	6 件
年間パスポート購入者へのイベント情報の配信	通 年	年間共通パスポート購入者の携帯電話及びパソコンに催し物、展示昆虫や季節の昆虫などの最新情報を配信した。	3 件
オリジナルグッズの配布	通 年	各イベントに合わせ、昆虫カードやシールなど昆虫館オリジナルグッズを配布し、昆虫館のP R及び入館者の増加を図った。	昆虫シール 5,000 枚

i 出版物の発行

名 称	内 容	配布部数
「標本の作り方」	標本の作り方や身近な昆虫の飼い方を分かりやすく解説した	1,000 部
「飼ってみよう」	リーフレットを作製し、昆虫に関する知識の普及を図った。	3,000 部

j 昆虫に関する相談

名 称	実施期間	内 容	件 数
昆 虫 相 談	通 年	昆虫の飼育相談、昆虫の生態の質問など、昆虫に関する相談を受けて助言指導した。	1,118 件

② 収益事業等

ア 売店の運営など [収1事業]

(ア) 安佐動物公園等における売店の運営など

指定管理者として指定された次の施設の利用者の利便を図るため、売店、食堂などの経営を行った。

営業場所	内容
安佐動物公園	売店(2か所)における土産物などの販売 食堂(1か所)における飲食物の販売 喫茶(1か所)における飲食物の販売 自動販売機による清涼飲料水などの販売 ベビーカーの賃貸 コインロッカーの賃貸 電動スクーターの賃貸
植物公園	売店(1か所)における土産物などの販売 売店(1か所)における植物などの販売 食堂(1か所)における飲食物の販売 喫茶(1か所)における飲食物の販売 臨時売店(3か所)における植物などの販売 自動販売機による清涼飲料水などの販売 コインロッカーの賃貸 電動スクーターの賃貸 観光望遠鏡の賃貸
昆虫館	売店(1か所)における土産物などの販売 自動販売機による清涼飲料水などの販売 コインロッカーの賃貸
中央公園ファミリープール	食堂(1か所)における飲食物の販売 売店(1か所)における飲食物などの販売 自動販売機による清涼飲料水などの販売 浮輪の賃貸
中央公園(定期観光バス等駐車場) 大芝公園(交通ランド)	自動販売機による清涼飲料水などの販売

(イ) 公益目的事業への繰入れ

緑のまちづくり事業、動物公園事業、植物公園事業、昆虫館事業等の推進を図るため、売店の運営等で得た収益を公益目的事業に繰り入れた。

イ 公園及び公園施設の管理運営 [他1事業]

広島市から指定（期間：平成22年4月1日～平成26年3月31日）を受けたファミリープールの入園料などの収受及び管理運営、中央公園の維持管理、交通ランド（大芝公園）のゴーカート使用料の収納事務及び維持管理並びに安佐動物公園及び植物公園の駐車料の収受及び駐車場の管理運営を行い、入園者及び利用者が施設を安全かつ快適に利用できるよう努めた。

また、中央公園では、樹木及び被爆施設を活用して、樹木に関する知識の普及や平和について学ぶ機会を提供し、ファミリープールでは、幼児や児童、青少年の心身の健全な発達を図るため、水泳教室を開催した。

(ア) 中央公園（ファミリープールを含む）及び交通ランドの管理運営

a 入園料などの収受及びゴーカート使用料の収納事務

(a) ファミリープール（利用料金制）

【入園状況】

区分			入園者数		使用料	
有料入園者	個人	大人	18歳以上 65歳未満	760円	43,134人 32,781,840円	
		大人	65歳以上	340円	1,978人 672,520円	
		小人	小・中・高校生及び18歳未満	340円	46,384人 15,770,560円	
	団体	大人	18歳以上 65歳未満	630円	0人 0円	
		大人	65歳以上	270円	0人 0円	
		小人	小・中・高校生及び18歳未満	270円	303人 81,810円	
小計			91,799人	49,306,730円		
減免等入園者（障害者、その他）			32,550人	0円		
合計			124,349人	49,306,730円		

【コインロッカー利用状況】

区分	利用回数	使用料
ロッカー利用（100円）	46,811回	4,681,100円

(b) 交通ランド

【利用状況】

区分		利用台数	使用料
ゴーカート	個人	1人乗り(1台1回100円)	30,052台
		2人乗り(1台1回150円)	39,851台
	団体	1人乗り(1台1回80円)	36台
		2人乗り(1台1回120円)	364台
	減免利用者 (高齢者、その他)	1人乗り(—)	727台
		2人乗り(—)	8,325台
合計		79,355台	9,029,410円

b 利用促進

名称	実施日	内容	参加者数等
交通ランドゴーカート運休日の運行	25年 4月 30日	ゴールデンウィーク期間中のゴーカート運休日に運行し、利用者に対するサービスの向上を図った。	利用台数 155台
ファミリープール開園期間の延長等	25年 6月 28日・29日・30日 25年 8月 6日 25年 9月 1日	開園期間を4日間延長するとともに、開園期間中の休園日を開園し、利用者に対するサービスの向上及び入園者の増加を図った。	入園者数 6,592人
ファミリープールポイントカードの発行	25年6月28日 ～25年9月1日	所定の利用回数に達した場合、次回の入園料を免除するポイントカードを発行し、リピーターの確保を図った。	配付枚数 44,700枚 達成枚数 639枚
ファミリープールイベント開催	キャラクターショー 25年 7月 26日 ゲーム大会 25年 7月 25日 25年 8月 1日 25年 8月 8日 25年 8月 22日	キャラクターショーやゲーム大会などのイベントを開催し、利用者に対するサービスの向上を図った。	キャラクターショー 2回 ゲーム大会 12回

c 施設の維持管理・園内サービス

名 称	時 期	内 容
施設の維持管理	通 年	利用者に安全・快適な利用環境を提供するため、園内の清掃・警備などを行った。また、プール管理棟などの建物、機械・電気などの設備やゴーカートを良好な状態で利用できるよう維持管理や小規模修繕を行った。
利 用 案 内	通 年	利用者が快適に施設を利用できるよう、標識、リーフレットや園内放送などにより利用案内を行った。
緊急時などの対応	通 年	傷病者の救護、迷子の捜索・保護、拾得物・遺失物の管理などを行った。
交通ランドにおける広島市の交通安全行政への協力	通 年	交通安全教室やチャイルドシート取付講習など広島市が企画・実施する事業に協力した。
ファミリープール涼感サービスの提供	25年8月15日 ～25年9月1日	暑さ対策として、入園ゲート前と園内にミストファンを置き、入園者が涼しさを感じられるサービスを提供した。

(イ) 安佐動物公園及び植物公園の駐車場の管理運営

a 駐車料の收受（利用料金制）

(a) 安佐動物公園

【利用状況】

区 分	台 数	使 用 料
中・大型自動車（1,350円）	1,340 台	1,809,000 円
普通自動車（440円）	111,107 台	48,887,080 円
減 免 利 用	1,688 台	0 円
合 計	114,135 台	50,696,080 円

(b) 植物公園

【利用状況】

区 分	台 数	使 用 料
中・大型自動車（1,350円）	252 台	340,200 円
普通自動車（440円）	44,397 台	19,534,680 円
減 免 利 用	1,518 台	0 円
合 計	46,167 台	19,874,880 円

b 施設の維持管理

名 称	時 期	内 容
施設の維持管理	通 年	利用者に安心・安全な利用環境を提供するため、駐車場内及び進入路における交通誘導や警備などを行った。また、立体駐車場などの建物や機械・電気などの設備を良好な状態で利用できるよう維持管理や小規模修繕を行った。

(ウ) 中央公園（ファミリープールを含む）における教育・普及

a 水泳教室その他催し物の開催

名 称	実施期間(日)	内 容	参加者数等
中 央 公 園 樹名板づくり教室	25年 5月19日	中央公園樹木の樹名板の作製や設置を行う子どもを募り、作業を通じて樹木について楽しく学ぶ場を提供した。また、この手作りの樹名板により公園利用者の関心を引き、樹木への理解や知識を深めた。	66 人
ファミリープール 体験水泳教室	25年 7月23日 25年 7月30日 25年 8月 6日 25年 8月20日 25年 8月27日	親子を対象に、泳ぎ方や指導方法の基礎などを体験し、習得する場を提供した。また、救助する方法、救助される方法について実技を行った。	153組 306 人
中央公園における 平 和 学 習	25年 9月26日	市民を対象に、中央公園内にある中国軍管区司令部跡（被爆した旧防空作戦室）で、戦争体験者が当時の悲惨な状況を説明した。	26 人

b 広報普及

名 称	実施期間	内 容	件 数 等
インターネット・ ホームページ広報 <small>(6ページの公益目的事業に重複記載)</small>	通 年	インターネットを通じて、施設の紹介や催し物などの情報を提供した。	アクセス件数 95,721 件
マスコミ広報	通 年	テレビ局・新聞社・出版社などを通じて、催し物などの広報を行った。	テレビ 31 件 新 聞 2 件 情報誌等 8 件 計 41 件
ポスター広告及び PR用チラシの配布	25年6月18日 ～25年9月1日	公共交通機関発着駅などにおいて、ファミリープールのポスター広告を行った。また、PR用チラシを作製し、公共施設などを通じて配布した。	ポスター 367 か所 チラシ 154 か所

(2) 無償使用貸借資産

事業を実施するに当たって、広島市から無償使用貸借している資産は次のとおりである。

(平成26年3月31日現在)

名 称	所 在 地	区 分	現 在 高
安佐動物公園	安佐北区安佐町大字 動物園	建 物	食堂及び軽食・喫茶（厨房を除く）等 387.79m ²
植物公園	佐伯区倉重三丁目 495番地	建 物	食堂（厨房を除く）等 429.68m ²

7 事業報告の附属明細書

記載すべき事項はありません。

決 算 報 告 書

第2 決算報告書

平成25年度公益財団法人広島市みどり生きもの協会決算報告書
(平成25年4月1日から平成26年3月31日まで)

1 貸借対照表

貸 借 対 照 表

平成26年3月31日現在

(単位:円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	317,158,232	319,779,325	△ 2,621,093
未収金	10,812,980	16,055,556	△ 5,242,576
商品	2,453,202	4,037,952	△ 1,584,750
切手	8,960	12,920	△ 3,960
流動資産合計	330,433,374	339,885,753	△ 9,452,379
2. 固定資産			
(1) 基本財産			
投資有価証券	112,000,000	112,000,000	0
基本財産合計	112,000,000	112,000,000	0
(2) 特定資産			
緑化基金	413,634,328	413,634,328	0
広島市みどり生きもの協会賞基金	3,000,000	3,000,000	0
退職給付引当資産	25,679,938	31,342,615	△ 5,662,677
減価償却引当資産	19,053,340	18,736,707	316,633
備品等購入資金積立資産	1,452,606	1,452,606	0
特定資産合計	462,820,212	468,166,256	△ 5,346,044
(3) その他固定資産			
建物	1,490,000	1,490,000	0
建物減価償却累計額	△ 1,489,998	△ 1,489,998	0
構築物	2,764,650	2,764,650	0
構築物減価償却累計額	△ 491,490	△ 307,181	△ 184,309
車両運搬具	8,048,207	6,551,747	1,496,460
車両運搬具減価償却累計額	△ 5,150,663	△ 6,184,538	1,033,875
器具備品	18,470,291	17,470,391	999,900
器具備品減価償却累計額	△ 14,634,978	△ 13,225,862	△ 1,409,116
電話加入権	74,984	74,984	0
投資有価証券	34,288	7,846	26,442
その他固定資産合計	9,115,291	7,152,039	1,963,252
固定資産合計	583,935,503	587,318,295	△ 3,382,792
資産合計	914,368,877	927,204,048	△ 12,835,171

(単位：円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	144,070,787	100,506,409	43,564,378
未払法人税等	271,000	4,521,700	△ 4,250,700
前受金	536,000	250,000	286,000
買掛金	8,974,529	8,285,791	688,738
預り金	19,079,792	10,056,019	9,023,773
賞与引当金	26,184,785	25,901,486	283,299
流動負債合計	199,116,893	149,521,405	49,595,488
2. 固定負債			
退職給付引当金	395,204,381	409,527,205	△ 14,322,824
固定負債合計	395,204,381	409,527,205	△ 14,322,824
負債合計	594,321,274	559,048,610	35,272,664
III 正味財産の部			
1. 指定正味財産			
広島市出資金	503,600,000	503,600,000	0
指定正味財産合計	503,600,000	503,600,000	0
(うち基本財産への充当額)	(100,000,000)	(100,000,000)	(0)
(うち特定資産への充当額)	(403,600,000)	(403,600,000)	(0)
2. 一般正味財産	△ 183,552,397	△ 135,444,562	△ 48,107,835
(うち基本財産への充当額)	(12,000,000)	(12,000,000)	(0)
(うち特定資産への充当額)	(33,540,274)	(33,223,641)	(316,633)
正味財産合計	320,047,603	368,155,438	△ 48,107,835
負債及び正味財産合計	914,368,877	927,204,048	△ 12,835,171

2 貸借対照表内訳表

貸 借 対 照 表 内 訳 表

平成 26 年 3 月 31 日 現 在

(単位:円)

科 目	公益目的事業会計	収益事業等会計	法人会計	内部取引消去	合 計
I 資産の部					
1. 流動資産					
現金預金	162,860,070	145,954,758	8,343,404		317,158,232
未収金	1,479,662	8,502,173	831,145		10,812,980
商品		2,453,202			2,453,202
切手		8,960			8,960
流動資産合計	164,339,732	156,919,093	9,174,549		330,433,374
2. 固定資産					
(1) 基本財産					
投資有価証券	112,000,000				112,000,000
基本財産合計	112,000,000				112,000,000
(2) 特定資産					
緑化基金	413,634,328				413,634,328
広島市みどり生きもの協会賞基金	3,000,000				3,000,000
退職給付引当資産		25,679,938			25,679,938
減価償却引当資産	236,570	18,816,770			19,053,340
備品等購入資金積立資産		1,452,606			1,452,606
特定資産合計	416,870,898	45,949,314			462,820,212
(3) その他固定資産					
建物		1,490,000			1,490,000
建物減価償却累計額		△ 1,489,998			△ 1,489,998
構築物		2,764,650			2,764,650
構築物減価償却累計額		△ 491,490			△ 491,490
車両運搬具	3,068,310	4,979,897			8,048,207
車両運搬具減価償却累計額	△ 236,570	△ 4,914,093			△ 5,150,663
器具備品	3,970,380	14,499,911			18,470,291
器具備品減価償却累計額	△ 2,713,789	△ 11,921,189			△ 14,634,978
電話加入権		74,984			74,984
投資有価証券	34,288				34,288
その他固定資産合計	4,122,619	4,992,672			9,115,291
固定資産合計	532,993,517	50,941,986			583,935,503
資産合計	697,333,249	207,861,079	9,174,549		914,368,877
II 負債の部					
1. 流動負債					
未払金	87,733,793	47,933,075	8,403,919		144,070,787
未払法人税等		271,000			271,000
前受金	536,000				536,000
買掛金		8,974,529			8,974,529
預り金	13,504,090	4,805,332	770,370		19,079,792
賞与引当金	21,983,738	2,271,492	1,929,555		26,184,785
流動負債合計	123,757,621	64,255,428	11,103,844		199,116,893
2. 固定負債					
退職給付引当金	338,289,073	25,679,938	31,235,370		395,204,381
固定負債合計	338,289,073	25,679,938	31,235,370		395,204,381
負債合計	462,046,694	89,935,366	42,339,214		594,321,274
III 正味財産の部					
1. 指定正味財産					
広島市出資金	503,600,000				503,600,000
指定正味財産合計	503,600,000				503,600,000
(うち基本財産への充当額)	(100,000,000)				(100,000,000)
(うち特定資産への充当額)	(403,600,000)				(403,600,000)
2. 一般正味財産	△ 268,313,445	117,925,713	△ 33,164,665		△ 183,552,397
(うち基本財産への充当額)	(12,000,000)				(12,000,000)
(うち特定資産への充当額)	(13,270,898)	(20,269,376)			(33,540,274)
正味財産合計	235,286,555	117,925,713	△ 33,164,665		320,047,603
負債及び正味財産合計	697,333,249	207,861,079	9,174,549		914,368,877

3 正味財産増減計算書

正味財産増減計算書

平成25年4月1日から平成26年3月31日まで

(単位:円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用益			
基本財産受取利息	935,668	997,657	△ 61,989
特定資産運用益			
緑化基金受取利息	3,455,310	3,674,044	△ 218,734
協会賞基金受取利息	25,062	27,133	△ 2,071
引当資産等受取利息	107,585	95,259	12,326
受取会費			
会員受取会費	1,028,500	600,000	428,500
事業収益			
利用料金収益	298,136,590	305,235,340	△ 7,098,750
指定管理料収益	872,580,066	901,818,267	△ 29,238,201
維持補修業務等受託収益	19,182,688	12,845,369	6,337,319
保護増殖業務受託収益	359,632	201,757	157,875
売店売上収益	15,295,242	17,011,130	△ 1,715,888
売店等売上収益	176,904,224	170,126,156	6,778,068
売店等事業収益	24,625,694	26,787,707	△ 2,162,013
遊具貸出収益	1,789,200	1,959,400	△ 170,200
実費徴収金収益	4,066,993	3,774,435	292,558
手数料収益	68,803	58,540	10,263
使用料収益	2,289,660	2,511,180	△ 221,520
受取補助金等			
受取協会運営等補助金	82,950,155	58,846,657	24,103,498
受取動物管理助成金	709,379	757,115	△ 47,736
受取動物保護活動等助成金	269,000		269,000
受取負担金			
受取負担金	2,004,750	1,604,100	400,650
受取寄付金			
受取寄付金	60,000	105,000	△ 45,000
受取協賛金			
受取協賛金	1,150,000	1,050,000	100,000
雑収益			
受取利息	18		18
雑収益	10,122,341	3,229,366	6,892,975
固定負債取崩益			
退職給付引当金取崩益	11,537,008		11,537,008
経常収益計	1,529,653,568	1,513,315,612	16,337,956

(単位:円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
(2) 経常費用			
事業費			
給料	178,331,581	180,013,941	△ 1,682,360
諸手当	166,777,822	177,697,775	△ 10,919,953
報酬	110,505,027	117,074,676	△ 6,569,649
賞与引当金繰入	24,255,230	24,006,081	249,149
災害補償費	170,130		170,130
賃金	96,798,265	88,730,189	8,068,076
退職給付費用	7,702,929	34,697,507	△ 26,994,578
法定福利費	96,673,330	95,256,314	1,417,016
退職共済掛金	228,000	228,000	0
仕入費	91,981,260	90,029,285	1,951,975
食糧費	142,896	103,273	39,623
諸謝金	4,082,050	3,618,990	463,060
諸会費	752,180	750,720	1,460
報償費	748,486	867,592	△ 119,106
旅費	2,844,870	3,130,747	△ 285,877
通信運搬費	3,818,758	3,427,309	391,449
減価償却費	2,131,399	2,318,029	△ 186,630
消耗什器備品費	827,850	1,258,795	△ 430,945
消耗品費	122,752,228	107,585,836	15,166,392
器具備品購入費	4,113,182	2,639,212	1,473,970
原材料費	1,065,469	1,104,219	△ 38,750
委託料	288,174,004	290,828,026	△ 2,654,022
修繕費	58,027,851	49,090,114	8,937,737
燃料費	38,814,139	32,416,624	6,397,515
光熱水費	134,291,777	128,407,920	5,883,857
手数料	2,476,520	2,508,619	△ 32,099
使用料及び賃借料	13,169,244	12,856,290	312,954
保険料	2,619,354	2,671,933	△ 52,579
租税公課費	32,206,709	34,467,385	△ 2,260,676
負担金、補助及び交付金	2,568,826	2,010,678	558,148
広報費	1,705,741	1,489,849	215,892
商品開発費	12,776	147,000	△ 134,224
雑費		16,355	△ 16,355
指定管理納付金	4,947,530		4,947,530
固定資産除却損	1	1	0

(単位:円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
管理費			
給料	16,001,346	12,358,800	3,642,546
諸手当	13,356,030	10,597,436	2,758,594
報酬	10,362,428	11,700,296	△ 1,337,868
賞与引当金繰入	1,929,555	1,895,405	34,150
賃金	3,585,629	5,975,919	△ 2,390,290
退職給付費用	14,585,680	4,049,804	10,535,876
法定福利費	6,520,512	5,462,637	1,057,875
退職共済掛金	252,000	252,000	0
会議費	136,400	131,160	5,240
交際費	26,250		26,250
諸謝金	429,000	440,000	△ 11,000
諸会費	369,180	422,680	△ 53,500
報償費	4,410	3,150	1,260
旅費	234,160	403,940	△ 169,780
通信運搬費	605,844	543,697	62,147
消耗品費	894,235	907,945	△ 13,710
委託料	5,419,379	1,274,286	4,145,093
手数料	118,612	102,891	15,721
使用料及び賃借料	9,006,577	9,527,260	△ 520,683
負担金、補助及び交付金	544,005	763,054	△ 219,049
経常費用計	1,580,098,646	1,558,261,644	21,837,002
評価損益等調整前当期経常増減額	△ 50,445,078	△ 44,946,032	△ 5,499,046
当期経常増減額	△ 50,445,078	△ 44,946,032	△ 5,499,046
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
固定資産受贈益			
車両運搬具受贈益	1,365,000		1,365,000
器具備品受贈益	800,000		800,000
固定負債取崩益			
退職給付引当金取崩益	443,243		443,243
経常外収益計	2,608,243		2,608,243
(2) 経常外費用			
経常外費用計			
当期経常外増減額	2,608,243		2,608,243
税引前当期一般正味財産増減額	△ 47,836,835	△ 44,946,032	△ 2,890,803
法人税、住民税及び事業税	271,000	4,521,700	△ 4,250,700
法人税等調整額		8,183,000	△ 8,183,000
当期一般正味財産増減額	△ 48,107,835	△ 57,650,732	9,542,897
一般正味財産期首残高	△ 135,444,562	△ 77,793,830	△ 57,650,732
一般正味財産期末残高	△ 183,552,397	△ 135,444,562	△ 48,107,835

(単位:円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
II 指定正味財産増減の部			
基本財産運用益			
基本財産受取利息	835,418	997,657	△ 162,239
特定資産運用益			
緑化基金受取利息	3,363,134	3,674,044	△ 310,910
協会賞基金受取利息	8,354	27,133	△ 18,779
一般正味財産への振替額			
一般正味財産への振替額	△ 4,206,906	△ 4,698,834	491,928
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	503,600,000	503,600,000	0
指定正味財産期末残高	503,600,000	503,600,000	0
III 正味財産期末残高	320,047,603	368,155,438	△ 48,107,835

4 正味財産増減計算書内訳表

正 味 財 産 増 減 計 算 書 内 訳 表
平成25年4月1日から平成26年3月31日まで

(単位:円)

科 目	公 益 目 的 事 業 会 計				収 益 事 業 等 会 計			法 人 会 計	内 部 取 引 消 去	合 計
	公1 (緑のまちづくり)	公2 (動物・植物・昆虫)	共通 (事業運営)	公益計	収1 (売店の運営など)	他1 (公園・公園施設)	収益等計			
I 一般正味財産増減の部										
1. 経常増減の部										
(1) 経常収益										
基本財産運用益										
基本財産受取利息	83,542	852,126		935,668						935,668
特定資産運用益										
緑化基金受取利息	3,455,310			3,455,310						3,455,310
協会賞基金受取利息		25,062		25,062						25,062
引当資産等受取利息										107,585
受取会費										
会員受取会費		1,028,500		1,028,500						1,028,500
事業収益										
利用料金収益		173,577,800		173,577,800						298,136,590
指定管理料収益		710,795,818		710,795,818						872,580,066
維持補修業務等受託収益		13,586,188		13,586,188						19,182,688
保護増殖業務受託収益		359,632		359,632						359,632
売店売上収益										15,295,242
売店等売上収益										176,904,224
売店等事業収益										24,052,198
遊具貸出収益										573,496
実費徴収金収益										1,789,200
手数料収益										4,066,993
使用料収益										68,803
受取補助金等										2,289,660
受取協会運営等補助金										82,950,155
受取動物管理助成金		709,379		709,379						709,379
受取動物保護活動等助成金		269,000		269,000						269,000
受取負担金										
受取負担金		2,004,750		2,004,750						2,004,750
受取寄付金										
受取寄付金		60,000		60,000						60,000
受取協賛金										
受取協賛金		1,150,000		1,150,000						1,150,000
雑収益										
受取利息	2	16		18						18
雑収益	146,270	7,903,220	110,373	8,159,863	106,882	1,024,451	1,131,333	831,145		10,122,341
固定負債取崩益										
退職給付引当金取崩益		11,537,008		11,537,008						11,537,008
経常収益計	3,710,186	923,833,437	110,373	927,653,996	224,680,787	293,537,485	518,218,272	83,781,300		1,529,653,568

科 目	公益目的事業会計				収益事業等会計			法人会計	内部取引消去	合計
	公1 (緑のまちづくり)	公2 (動物・植物・昆虫)	共通 (事業運営)	公益計	収1 (売店の運営など)	他1 (公園・公園施設)	収益等計			
(2) 経常費用										
事業費										
給料		163,617,469		163,617,469	14,714,112		14,714,112			178,331,581
諸手当		149,665,312	7,005,977	156,671,289	9,440,976	665,557	10,106,533			166,777,822
報酬		82,372,986		82,372,986	10,261,226	17,870,815	28,132,041			110,505,027
賞与引当金繰入		20,936,438	1,047,300	21,983,738	1,374,996	896,496	2,271,492			24,255,230
災害補償費		94,767		94,767	75,363		75,363			170,130
賃金		60,946,569		60,946,569	26,777,080	9,074,616	35,851,696			96,798,265
退職給付費用		3,273,354		3,273,354	4,429,575		4,429,575			7,702,929
法定福利費		80,960,003	4,611,216	85,571,219	6,785,155	4,316,956	11,102,111			96,673,330
退職共済掛金					228,000		228,000			228,000
仕入費					91,981,260		91,981,260			91,981,260
食糧費		139,896		139,896	3,000		3,000			142,896
諸謝金	298,250	3,731,800		4,030,050		52,000	52,000			4,082,050
諸会費		685,980		685,980	66,200		66,200			752,180
報償費	60,000	688,486		748,486						748,486
旅費		2,571,000		2,571,000	273,870		273,870			2,844,870
通信運搬費	90,266	3,365,881		3,456,147	125,117	237,494	362,611			3,818,758
減価償却費		242,917	236,570	479,487	1,651,912		1,651,912			2,131,399
消耗什器備品費		58,320		58,320	769,530		769,530			827,850
消耗品費	1,186,536	111,381,958	51,470	112,619,964	4,761,221	5,371,043	10,132,264			122,752,228
器具備品購入費		2,044,807		2,044,807		2,068,375	2,068,375			4,113,182
原材料費		1,065,469		1,065,469						1,065,469
委託料	99,750	138,965,589		139,065,339	2,168,862	146,939,803	149,108,665			288,174,004
修繕費		30,670,878	7,786	30,678,664	512,904	26,836,283	27,349,187			58,027,851
燃料費		38,258,144	31,330	38,289,474	59,430	465,235	524,665			38,814,139
光熱水費		77,645,505		77,645,505	8,292,470	48,353,802	56,646,272			134,291,777
手数料	27,906	2,142,535	16,290	2,186,731	266,771	23,018	289,789			2,476,520
使用料及び賃借料		8,484,199	1,780	8,485,979	3,728,095	955,170	4,683,265			13,169,244
保険料		1,146,278	50,441	1,196,719	346,865	1,075,770	1,422,635			2,619,354
租税公課費		22,767,023	29,600	22,796,623	5,402,903	4,007,183	9,410,086			32,206,709
負担金、補助及び交付金	2,104,700	418,472		2,523,172	45,654		45,654			2,568,826
広報費		1,705,741		1,705,741						1,705,741
商品開発費					12,776		12,776			12,776
指定管理納付金		4,275,010		4,275,010		672,520	672,520			4,947,530
固定資産除却損					1		1			1

科 目	公 益 目 的 事 業 会 計				収 益 事 業 等 会 計			法人会計	内部取引消去	合 計
	公1 (緑のまらづくり)	公2 (動物・植物・昆虫)	共通 (事業運営)	公益計	収1 (売店の運営など)	他1 (公園・公園施設)	収益等計			
管理費										
給料								16,001,346		16,001,346
諸手当								13,356,030		13,356,030
報酬								10,362,428		10,362,428
賞与引当金繰入								1,929,555		1,929,555
賃金								3,585,629		3,585,629
退職給付費用								14,585,680		14,585,680
法定福利費								6,520,512		6,520,512
退職共済掛金								252,000		252,000
会議費								136,400		136,400
交際費								26,250		26,250
諸謝金								429,000		429,000
諸会費								369,180		369,180
報償費								4,410		4,410
旅費								234,160		234,160
通信運搬費								605,844		605,844
消耗品費								894,235		894,235
委託料								5,419,379		5,419,379
手数料								118,612		118,612
使用料及び賃借料								9,006,577		9,006,577
負担金、補助及び交付金								544,005		544,005
経常費用計	3,867,408	1,014,322,786	13,089,760	1,031,279,954	194,555,324	269,882,136	464,437,460	84,381,232		1,580,098,646
評価損益等調整前当期経常増減額	△ 157,222	△ 90,489,349	△ 12,979,387	△ 103,625,958	30,125,463	23,655,349	53,780,812	△ 599,932		△ 50,445,078
当期経常増減額	△ 157,222	△ 90,489,349	△ 12,979,387	△ 103,625,958	30,125,463	23,655,349	53,780,812	△ 599,932		△ 50,445,078
2. 経常外増減の部										
(1) 経常外収益										
固定資産受贈益										
車両運搬具受贈益		1,365,000		1,365,000						1,365,000
器具備品受贈益		800,000		800,000						800,000
固定負債取崩益										
退職給付引当金取崩益		443,243		443,243						443,243
経常外収益計		2,608,243		2,608,243						2,608,243
(2) 経常外費用										
経常外費用計										
当期経常外増減額		2,608,243		2,608,243						2,608,243
他会計振替額	1,563,681	59,785,993	14,689,319	76,038,993	△ 26,419,537	△ 49,922,456	△ 76,341,993	303,000		0
税引前当期一般正味財産増減額	1,406,459	△ 28,095,113	1,709,932	△ 24,978,722	3,705,926	△ 26,267,107	△ 22,561,181	△ 296,932		△ 47,836,835
法人税、住民税及び事業税					271,000		271,000			271,000
当期一般正味財産増減額	1,406,459	△ 28,095,113	1,709,932	△ 24,978,722	3,434,926	△ 26,267,107	△ 22,832,181	△ 296,932		△ 48,107,835
一般正味財産期首残高	64,123,866	△ 306,404,667	△ 1,053,922	△ 243,334,723	115,387,283	25,370,611	140,757,894	△ 32,867,733		△ 135,444,562
一般正味財産期末残高	65,530,325	△ 334,499,780	656,010	△ 268,313,445	118,822,209	△ 896,496	117,925,713	△ 33,164,665		△ 183,552,397

科 目	公益目的事業会計				収益事業等会計			法人会計	内部取引消去	合計
	公1 (緑のまちづくり)	公2 (動物・植物・昆虫)	共通 (事業運営)	公益計	収1 (売店の運営など)	他1 (公園・公園施設)	収益等計			
II 指定正味財産増減の部										
基本財産運用益										
基本財産受取利息	83,542	751,876		835,418						835,418
特定資産運用益										
緑化基金受取利息	3,363,134			3,363,134						3,363,134
協会賞基金受取利息	8,354			8,354						8,354
一般正味財産への振替額										
一般正味財産への振替額	△ 3,455,030	△ 751,876		△ 4,206,906						△ 4,206,906
当期指定正味財産増減額	0	0		0						0
指定正味財産期首残高	413,600,000	90,000,000		503,600,000						503,600,000
指定正味財産期末残高	413,600,000	90,000,000		503,600,000						503,600,000
III 正味財産期末残高	479,130,325	△ 244,499,780	656,010	235,286,555	118,822,209	△ 896,496	117,925,713	△ 33,164,665		320,047,603

5 財務諸表に対する注記

財務諸表に対する注記

1. 繼続事業の前提に関する注記

該当なし

2. 重要な会計方針

(1) 有価証券の評価基準及び評価方法

満期保有目的の債券・・・償却原価法（定額法）によっている。

(2) 棚卸資産の評価基準及び評価方法

商品・・・先入先出法による原価法によっている。

(3) 固定資産の減価償却の方法

定額法によっている。

(4) 引当金の計上基準

貸倒引当金・・・・債権については回収可能性に問題がないため、貸倒引当金は計上していない。

賞与引当金・・・・職員の賞与の支払いに備えて、賞与支給見込額の当事業年度負担額を計上している。

退職給付引当金・・・・職員の退職給付に備えるため、期末退職給与の自己都合要支給額に相当する金額を計上している。

(5) 消費税等の会計処理

税込方式によっている。

3. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
投資有価証券	112,000,000	—	—	112,000,000
小　計	112,000,000	—	—	112,000,000
特定資産				
緑化基金	413,634,328	—	—	413,634,328
広島市みどり生きもの協会賞基金	3,000,000	—	—	3,000,000
退職給付引当資産	31,342,615	—	5,662,677	25,679,938
減価償却引当資産	18,736,707	1,888,482	1,571,849	19,053,340
備品等購入資金積立資産	1,452,606	—	—	1,452,606
小　計	468,166,256	1,888,482	7,234,526	462,820,212
合　計	580,166,256	1,888,482	7,234,526	574,820,212

4. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	当期末残高	(うち指定正味財産からの充当額)	(うち一般正味財産からの充当額)	(うち負債に對応する額)
基本財産				
投資有価証券	112,000,000	(100,000,000)	(12,000,000)	(-)
小　計	112,000,000	(100,000,000)	(12,000,000)	(-)
特定資産				
緑化基金	413,634,328	(402,600,000)	(11,034,328)	(-)
広島市みどり生きもの協会賞基金	3,000,000	(1,000,000)	(2,000,000)	(-)
退職給付引当資産	25,679,938	(-)	(-)	(25,679,938)
減価償却引当資産	19,053,340	(-)	(19,053,340)	(-)
備品等購入資金積立資産	1,452,606	(-)	(1,452,606)	(-)
小　計	462,820,212	(403,600,000)	(33,540,274)	(25,679,938)
合　計	574,820,212	(503,600,000)	(45,540,274)	(25,679,938)

5. 満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益

満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益は、次のとおりである。

(単位：円)

種類及び銘柄	帳簿価額	時 価	評価損益
第368回大阪府公募公債	527,768,997	535,738,308	7,969,311
第327回利付国債	899,619	919,410	19,791
合　計	528,668,616	536,657,718	7,989,102

6. 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高

補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高は、次のとおりである。

(単位：円)

補助金等 の名称	交付者	前期末 残高	当期 増加額	当期 減少額	当期末 残高	貸借対照表上 の記載区分
補助金 広島市補助金	広島市	0	82,950,155	82,950,155	0	
助成金 動物管理助成金	(公社)日本動物園水族館協会	0	709,379	709,379	0	
動物保護活動等助成金	(公社)日本動物園水族館協会	0	269,000	269,000	0	
合 計		0	83,928,534	83,928,534	0	

7. 指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳

指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

内 容	金 額
経常収益への振替額	
基本財産受取利息の振替額	835,418
特定資産受取利息の振替額	3,371,488
合 計	4,206,906

8. 関連当事者との取引の内容

関連当事者との取引内容は、次のとおりである。

(単位：円)

属 性 属 性 の 名 称	法 人 等 の 名 称	住 所	資 産 総 額	事 業 の 内 容 又 は 職 業	議 決 権 の 所 有 割 合	関 係 内 容		取引の内容	取引金額	科 目	期 末 残 高
						役員の兼務等	事業上の関係				
当法人を支配する法人	広島市	広島市中区	-	理事15名中市職員2名元市職員4名	-	市公共事業の受託	広島市の公園及び公園施設の指定管理	872,580,066	指定管理料収益	0	
							広島市の公園及び公園施設の維持修繕等	19,182,688	維持修繕業務等受託収益	0	
							協会事業に対する補助	82,950,155	受取協会運営等補助金	0	

(取引条件及び取引条件の決定方針等)

剰余金が生じた場合において、指定管理については毎年度又は指定管理期間満了時に精算を行い返還することとし、受託及び補助については毎年度精算を行い返還することとしている。

6 附属明細書

1. 基本財産及び特定資産の明細

財務諸表に対する注記の「3. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高」において記載しているため省略する。

2. 引当金の明細

(単位：円)

科 目	期首残高	当期増加額	当期減少額		期末残高
			目的使用	その他	
賞与引当金	25,901,486	26,184,785	25,901,486	-	26,184,785
退職給付引当金	409,527,205	3,320,104	17,199,685	443,243	395,204,381

(注) 退職給付引当金の「当期減少額（その他）」は、退職金支給額の引下げに伴う取崩額である。

財 産 目 錄

平成26年3月31日現在

(単位：円)

貸借対照表科目		場所・物量等	使用目的等	金額
(流動資産)				
	現金 預金	手元保管 普通預金 広島銀行本店営業部 広島銀行安支店 広島銀行五日市八幡支店 広島銀行福田支店 広島市農業協同組合五日市中央支店 ゆうちょ銀行広島馬木郵便局 ゆうちょ銀行日浦郵便局 ゆうちょ銀行広島城山郵便局 ゆうちょ銀行広島馬木郵便局 未収金 商品 切手	運転資金として 運転資金として	10,279,113 115,981,200 86,023,990 74,684,056 15,709,734 10,781,023 138,504 3,313,612 179,000 68,000 消費税及び地方消費税還付金、販売手数料等 来園者等への販売用 来園者等への販売用
振替口座			運転資金として	10,812,980 2,453,202 8,960
未収金				
商品				
切手				
流動資産合計				330,433,374
(固定資産)				
基本財産	投資有価証券	第368回大阪府公募公債	満期保有目的で保有し、運用益を動物公園事業等の財源として使用している。	112,000,000
特定資産	緑化基金	投資有価証券 第368回大阪府公募公債	満期保有目的で保有し、運用益を緑のまちづくり事業の財源として使用している。	412,736,000
	広島市みどり生きもの 協会賞基金	第327回利付国債 投資有価証券 第368回大阪府公募公債	同上	898,328
	退職給付引当資産	普通預金 広島銀行安支店	満期保有目的で保有し、運用益を緑のまちづくり事業の財源として使用している。	3,000,000
		定期預金 広島市信用組合安支店 広島県信用組合安古市支店	収益事業従事職員に対する退職金の支払いに備え管理している預金	5,679,938
		普通預金 広島銀行本店営業部 広島銀行安支店 広島銀行福田支店 広島市農業協同組合五日市中央支店 定期預金 広島市農業協同組合あさひが丘支店	同上	10,000,000
		普通預金 広島銀行安支店	同上	10,000,000
	減価償却引当資産	定期預金 広島市農業協同組合あさひが丘支店 普通預金 広島銀行安支店	器具備品等の更新に備え管理している預金	236,570
		定期預金 広島市農業協同組合あさひが丘支店 普通預金 広島銀行安支店	同上	4,563,491
		定期預金 広島市農業協同組合あさひが丘支店 普通預金 広島銀行安支店	同上	148,750
		定期預金 広島市農業協同組合あさひが丘支店 普通預金 広島銀行安支店	同上	4,104,529
	備品等購入資金積立資産	定期預金 広島市農業協同組合あさひが丘支店 普通預金 広島銀行安支店	同上	10,000,000
		定期預金 広島市農業協同組合あさひが丘支店 普通預金 広島銀行安支店	器具備品等の取得に備え管理している預金	1,452,606
その他固定資産	建物 構築物 車両運搬具	植物公園 温室及び倉庫 6.2. 3 m ² 安佐動物公園 仮設売店 9.7 m ² 小型乗用車、電動カート	収益事業における販売用植物の展示・保管用 収益事業における飲食物販売用	2 2,273,160
	器具備品	小型貨物等3台、スクーター2台 デジタルカメラ等20点	公益目的事業用車両運搬具	2,831,740
	電話加入権	冷蔵庫等64点	収益事業用車両運搬具	65,804
	投資有価証券	安佐動物公園 管理事務所	公益目的事業用器具備品	1,256,591
		第368回大阪府公募公債	収益事業用器具備品	2,578,722
		第327回利付国債	収益事業に係る電話回線（1回線）	74,984
固定資産合計			満期保有目的で保有し、運用益を緑のまちづくり事業等の財源として使用している。	32,997
資産合計			同上	1,291
583,935,503				
914,368,877				
(流動負債)				
	未払金 未払法人税等 前受金 買掛金 預り金 賞与引当金	維持管理業務等委託先業者ほか 広島東税務署 広島動物愛好会等会員 商品仕入先業者 広島東税務署、広島東年金事務所、広島市等 職員に対するもの	委託料等の未払額 平成25年度法人税等の未払額 平成26年度分前受会費 売店等における商品仕入れの買掛額 源泉所得税、健康保険料及び厚生年金保険料、住民税等 職員114名に対する賞与の支払いに備えたもの	144,070,787 271,000 536,000 8,974,529 19,079,792 26,184,785
流動負債合計				199,116,893
(固定負債)	退職給付引当金	職員に対するもの	職員66名に対する退職金の支払いに備えたもの	395,204,381
固定負債合計				395,204,381
負債合計				594,321,274
正味財産				320,047,603

監査報告書

平成26年5月16日

公益財団法人広島市みどり生きもの協会
理事長 荒本 徹哉 様

公益財団法人広島市みどり生きもの協会
監事 神田 敏治
公益財団法人広島市みどり生きもの協会
監事 手島 健志

私たち監事は、平成25年4月1日から平成26年3月31までの事業年度の理事の職務の執行を監査いたしました。その方法及び結果について、次のとおり報告いたします。

1 監査の方法及びその内容

各監事は、理事及び使用人等と意思疎通を図り、情報の収集及び監査の環境の整備に努めるとともに、理事会その他重要な会議に出席し、理事及び使用人等からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求め、重要な決裁書類等を閲覧し、業務及び財産の状況を調査いたしました。以上の方針に基づき、当該事業年度に係る事業報告について検討いたしました。

さらに、会計帳簿及びこれに関する資料の調査を行い、当該事業年度に係る計算書類（貸借対照表及び正味財産増減計算書）及びその附属明細書並びに財産目録について検討いたしました。

2 監査意見

(1) 事業報告等の監査結果

- 一 事業報告は、法令及び定款に従い、法人の状況を正しく示しているものと認めます。
- 二 理事の職務の執行に関する不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実は認められません。

(2) 計算書類及びその附属明細書並びに財産目録の監査結果

計算書類及びその附属明細書並びに財産目録は、法人の財産及び損益の状況をすべての重要な点において適正に示しているものと認めます。

以上